

沖縄県がん診療連携協議会

沖縄県のがん診療の 「将来需給と医療圏間調整」 のデータを見る

国際医療福祉大学大学院 教授

埴岡 健一

2021年11月19日

はじめに



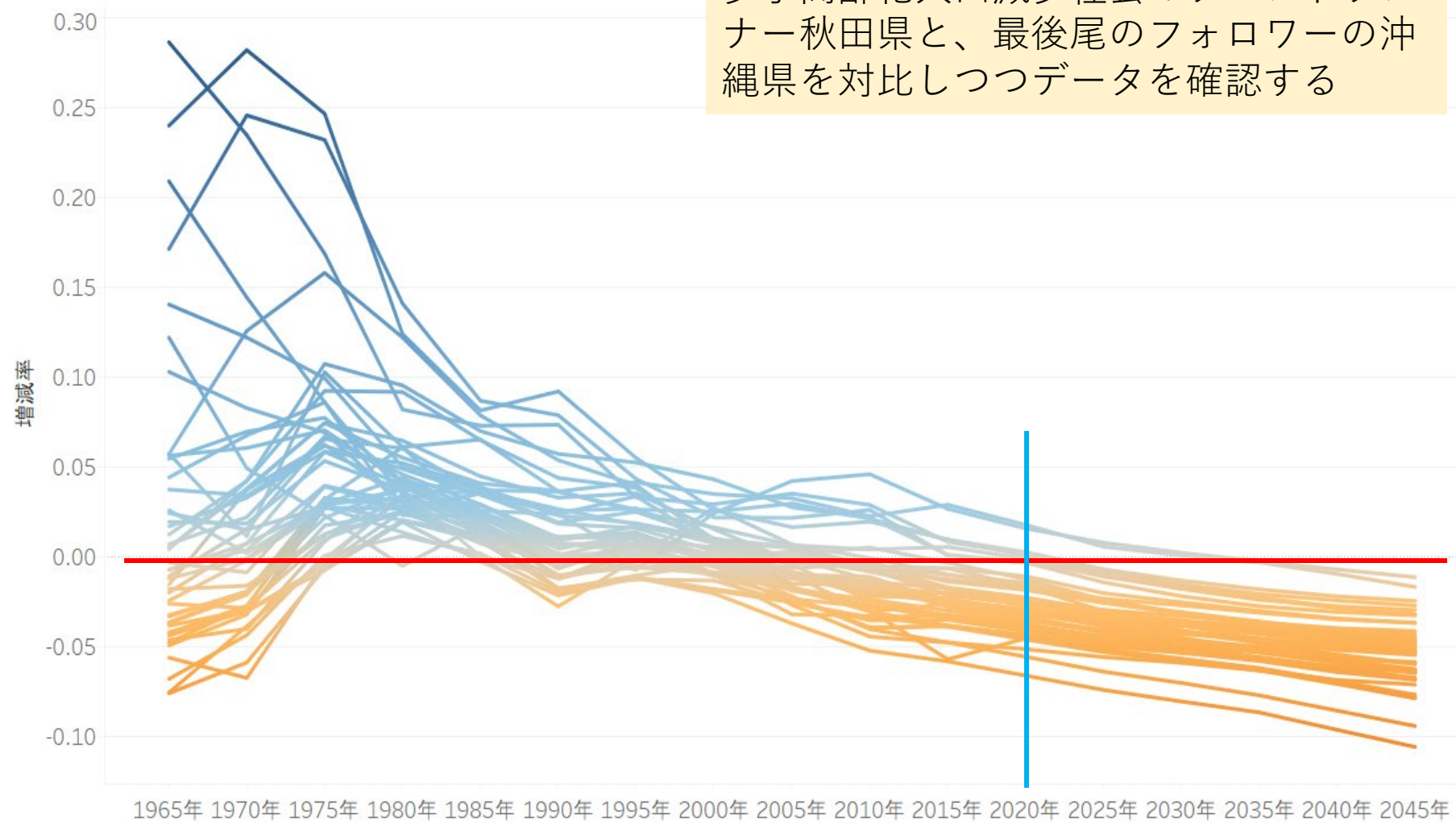
趣旨

- これから20年ほどの沖縄県のがん診療提供体制を考える
- 人口動態、需要推計、需給ギャップ、医療圏間患者移動など、関連するデータをいくつかピックアップした
- 地域で、今後のがん診療のあり方とがん医療提供体制の再構築について、議論を深める一助となれば...

人口動態の確認

47都道府県の人口増減率の推移

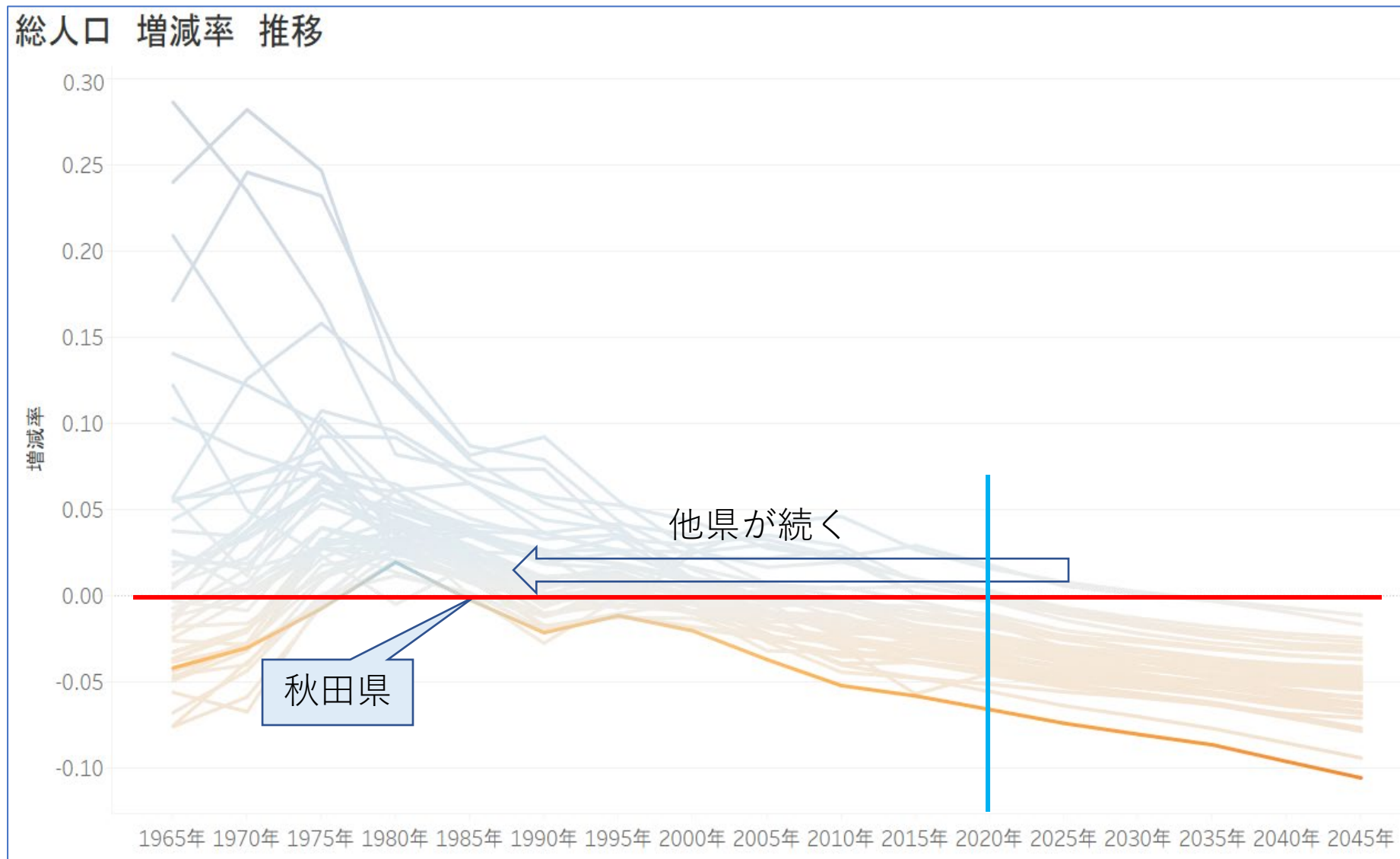
総人口 増減率 推移



増減率の差が大きかった⇒みんな減少に

データ出典：地域経済分析システム（RESAS）→人口マップ→人口増減→ダウンロード
グラフ：演者作成

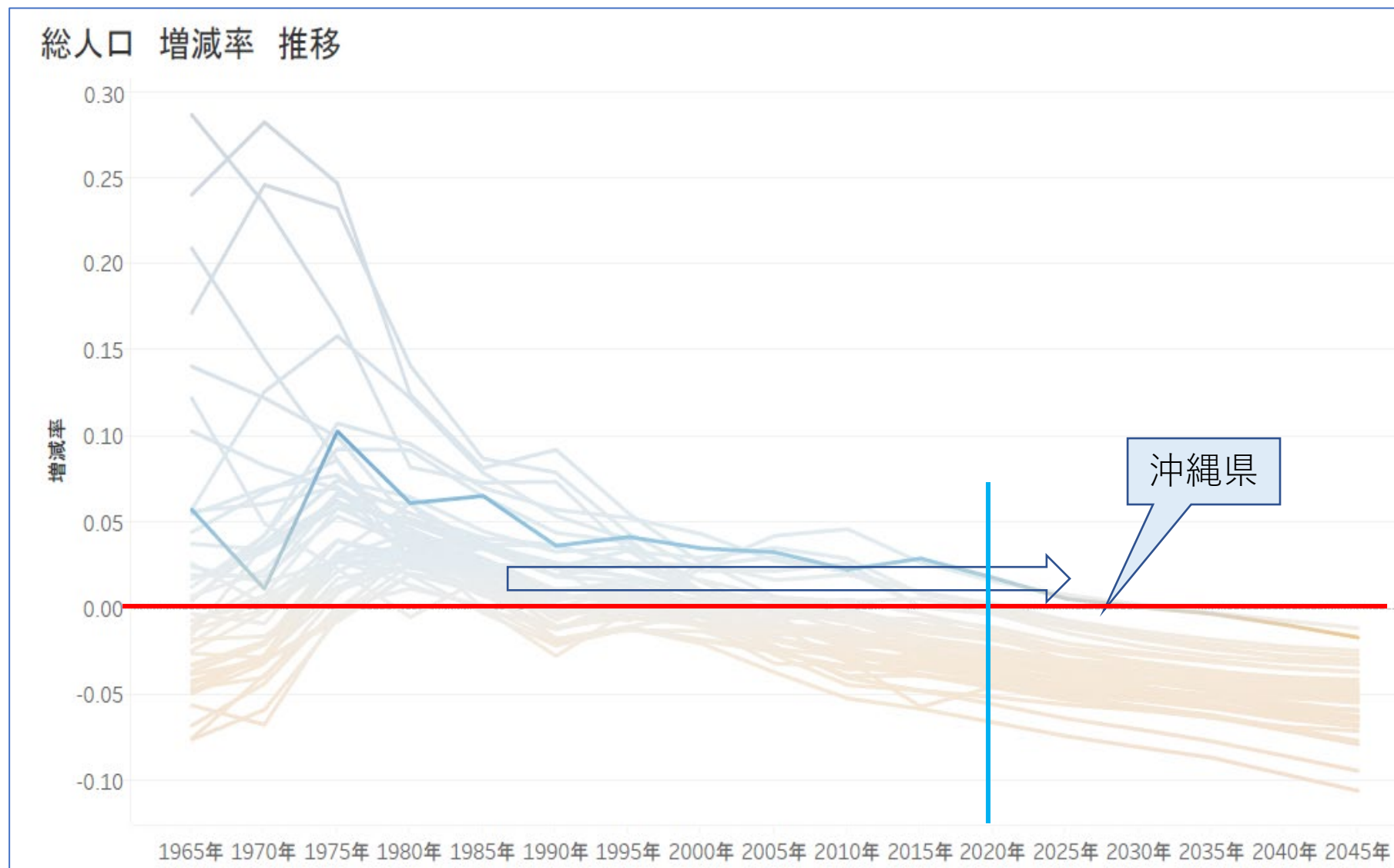
47都道府県の人口増減率の推移（秋田県にハイライト）



秋田県は早く、大きく減少してきた。他の地域が追従する

データ出典：地域経済分析システム（RESAS）→人口マップ→人口増減→ダウンロード
グラフ：演者作成

47都道府県の人口増減率の推移（沖縄県にハイライト）

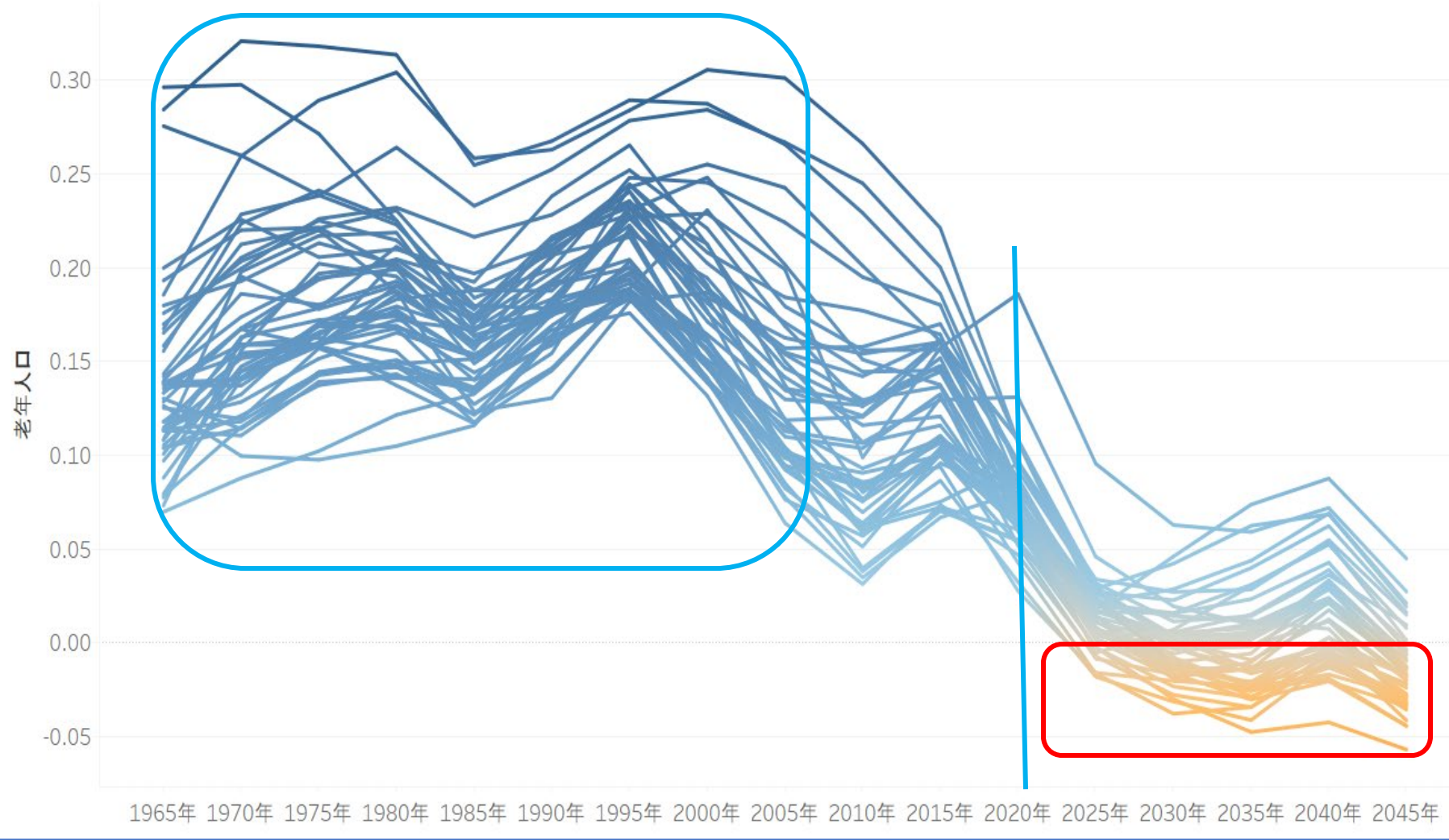


沖縄県はもっとも後に人口減少に入るグループにある

データ出典：地域経済分析システム（RESAS）→人口マップ→人口増減→ダウンロード
グラフ：演者作成

47都道府県の65歳以上人口増減率の推移

老年人口 増減率 推移

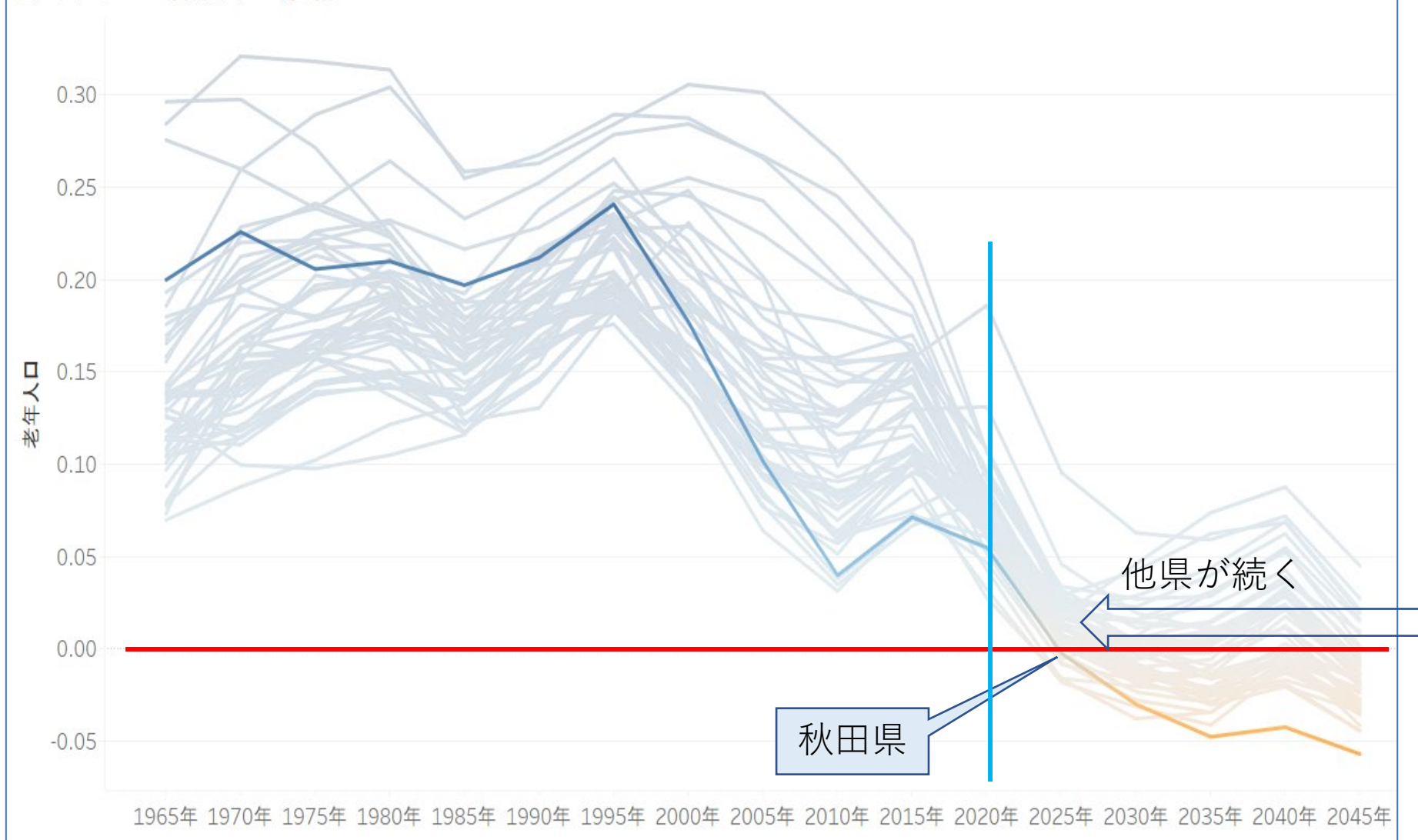


高齢者が増えてきた⇒高齢者も減少に

データ出典：地域経済分析システム（RESAS）→人口マップ→人口増減→ダウンロード
グラフ：演者作成

47都道府県の65歳以上人口増減率の推移（秋田県にハイライト）

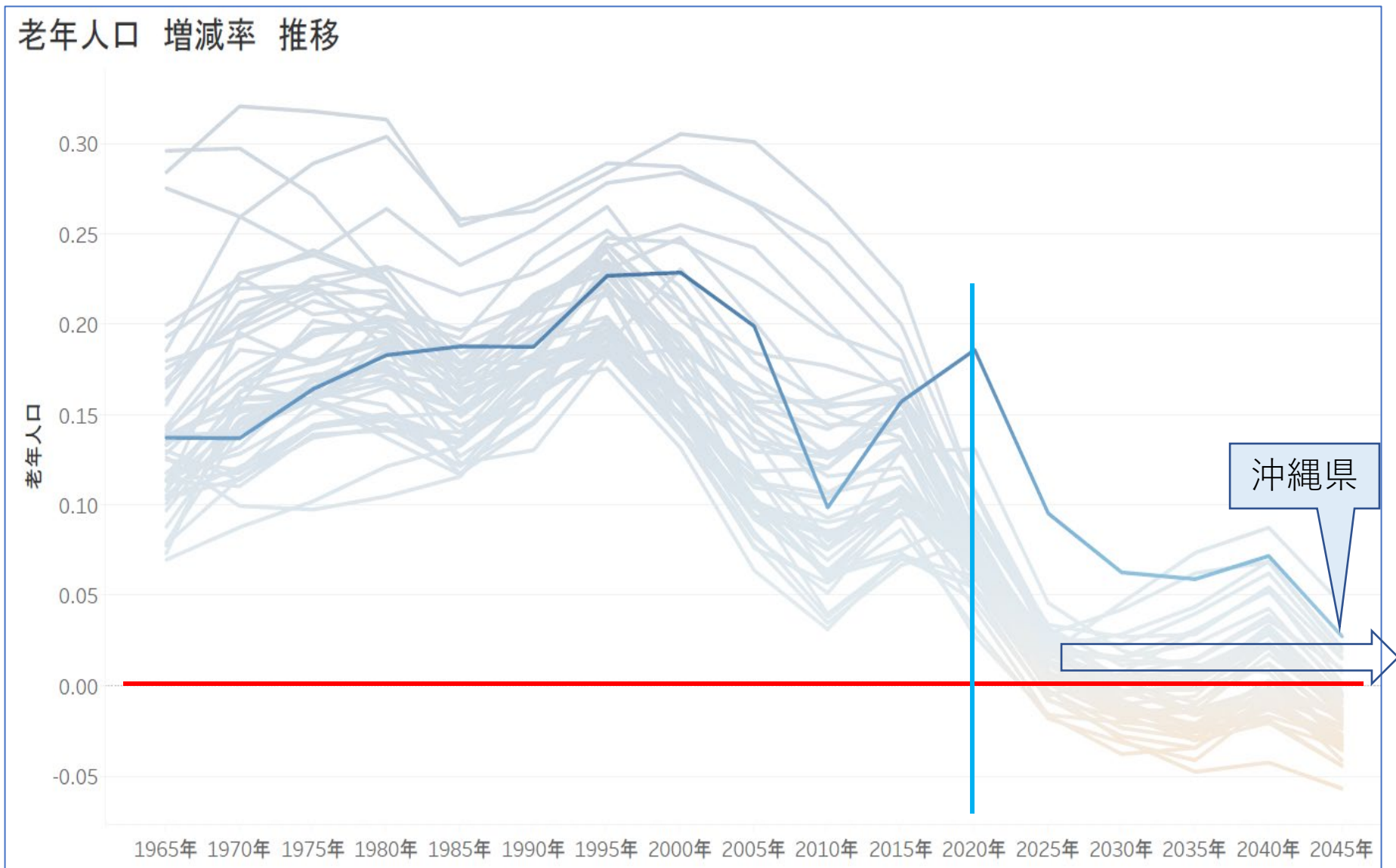
老年人口 増減率 推移



秋田県は早くから大きく減少してきた。他地域が追随する

データ出典：地域経済分析システム（RESAS）→人口マップ→人口増減→ダウンロード
グラフ：演者作成

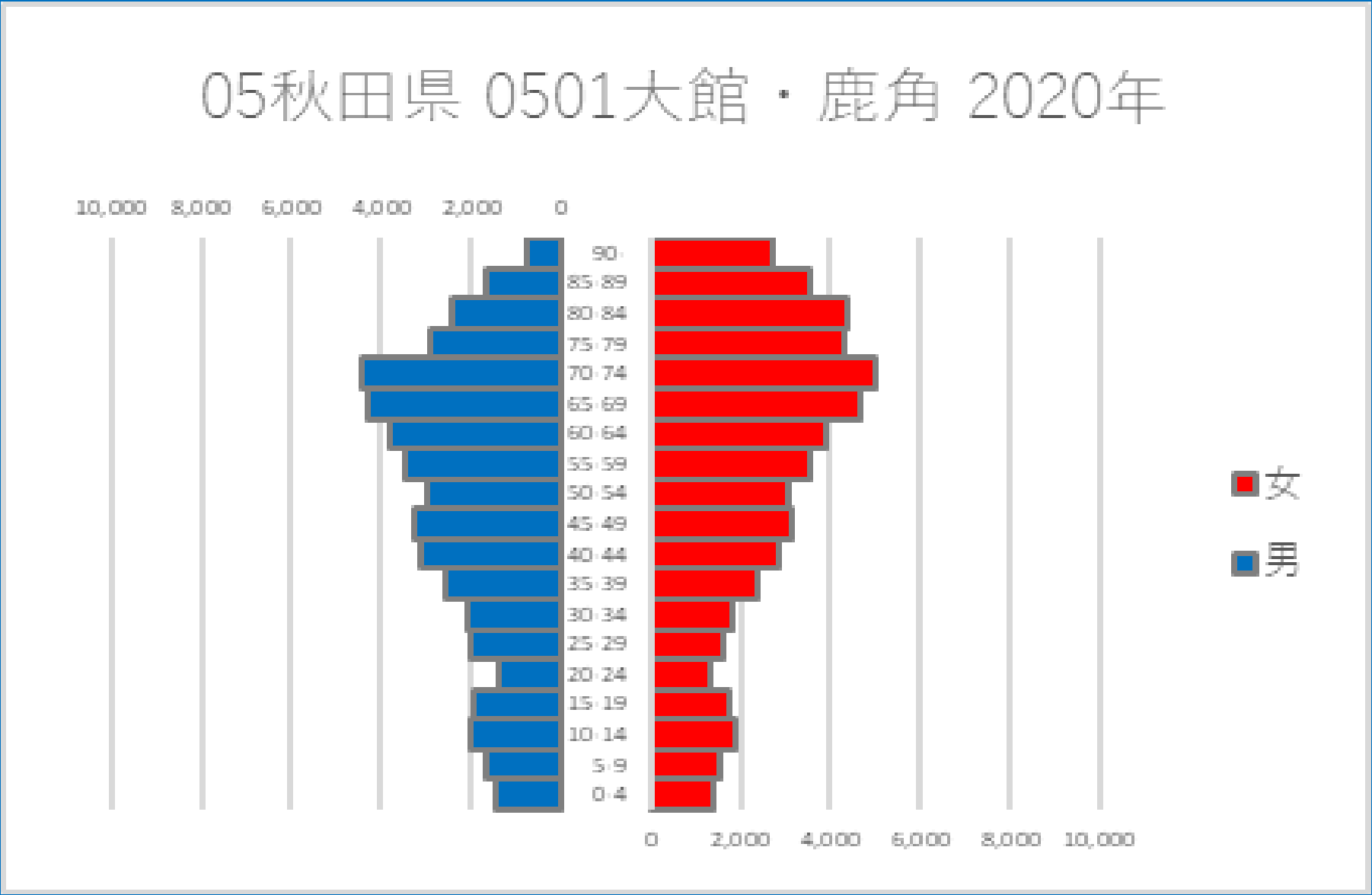
47都道府県の65歳以上人口増減率の推移（沖縄県にハイライト）



沖縄県は高齢者減少ももっとも遅く突入するグループにある

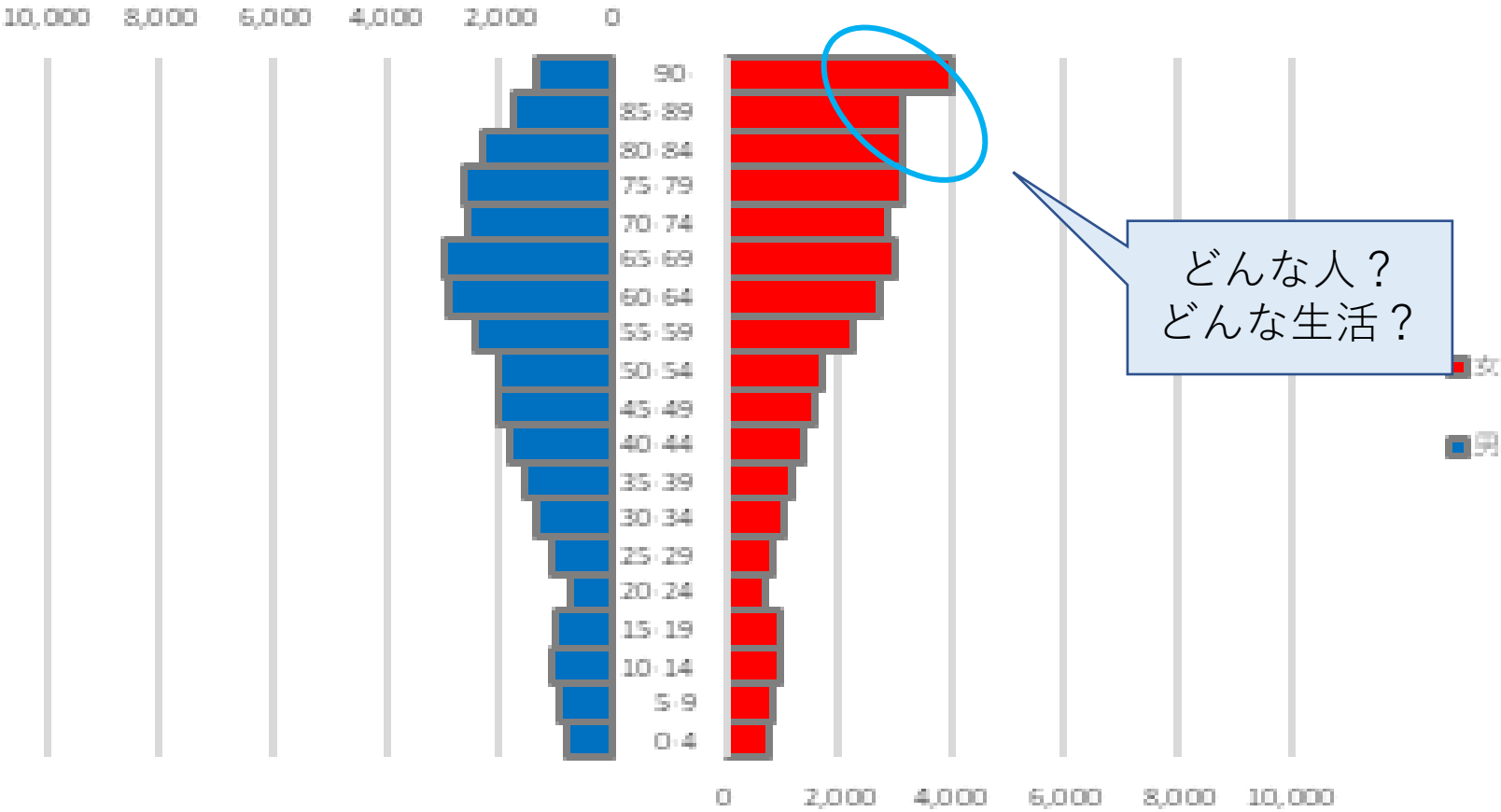
データ出典：地域経済分析システム（RESAS）→人口マップ→人口増減→ダウンロード
グラフ：演者作成

05秋田県 0501大館・鹿角 2020年

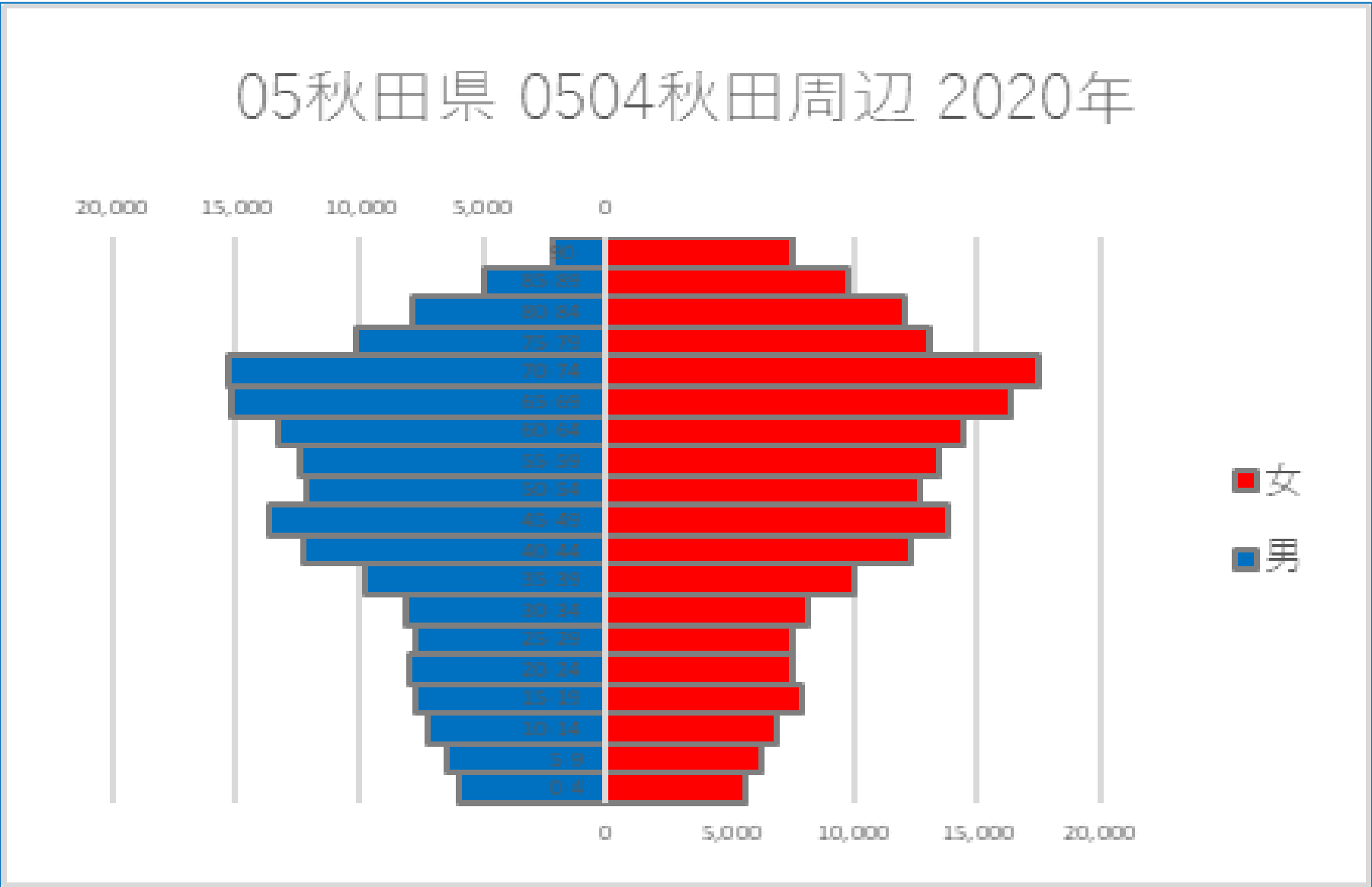


人口ピラミッドが逆ピラミッド形に。

05秋田県 0501大館・鹿角 2040年

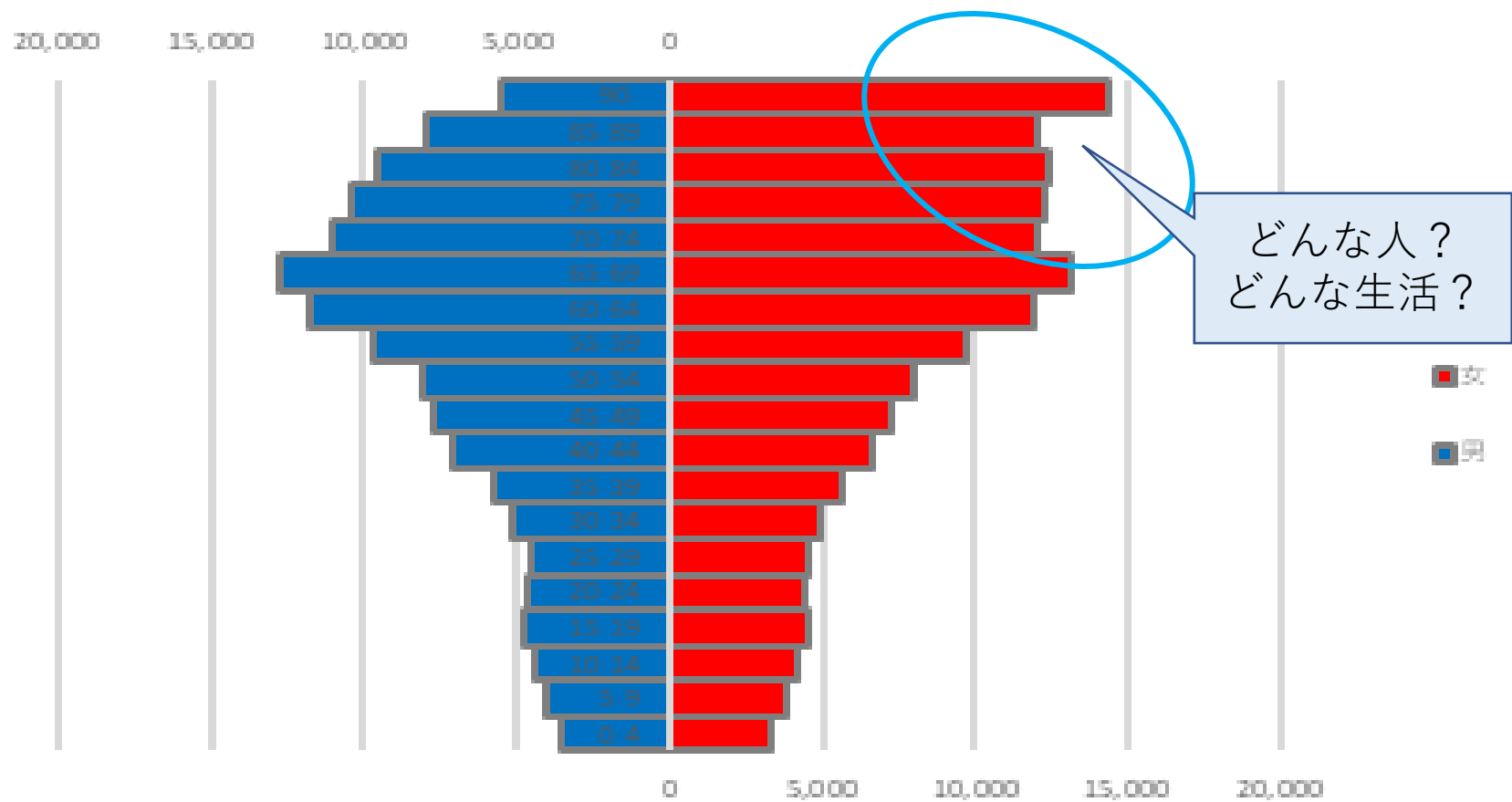


1人暮らし、持病あり、要介護、車なし...? ⇒ 見守りあり、送迎あり、訪問ケアあり...?



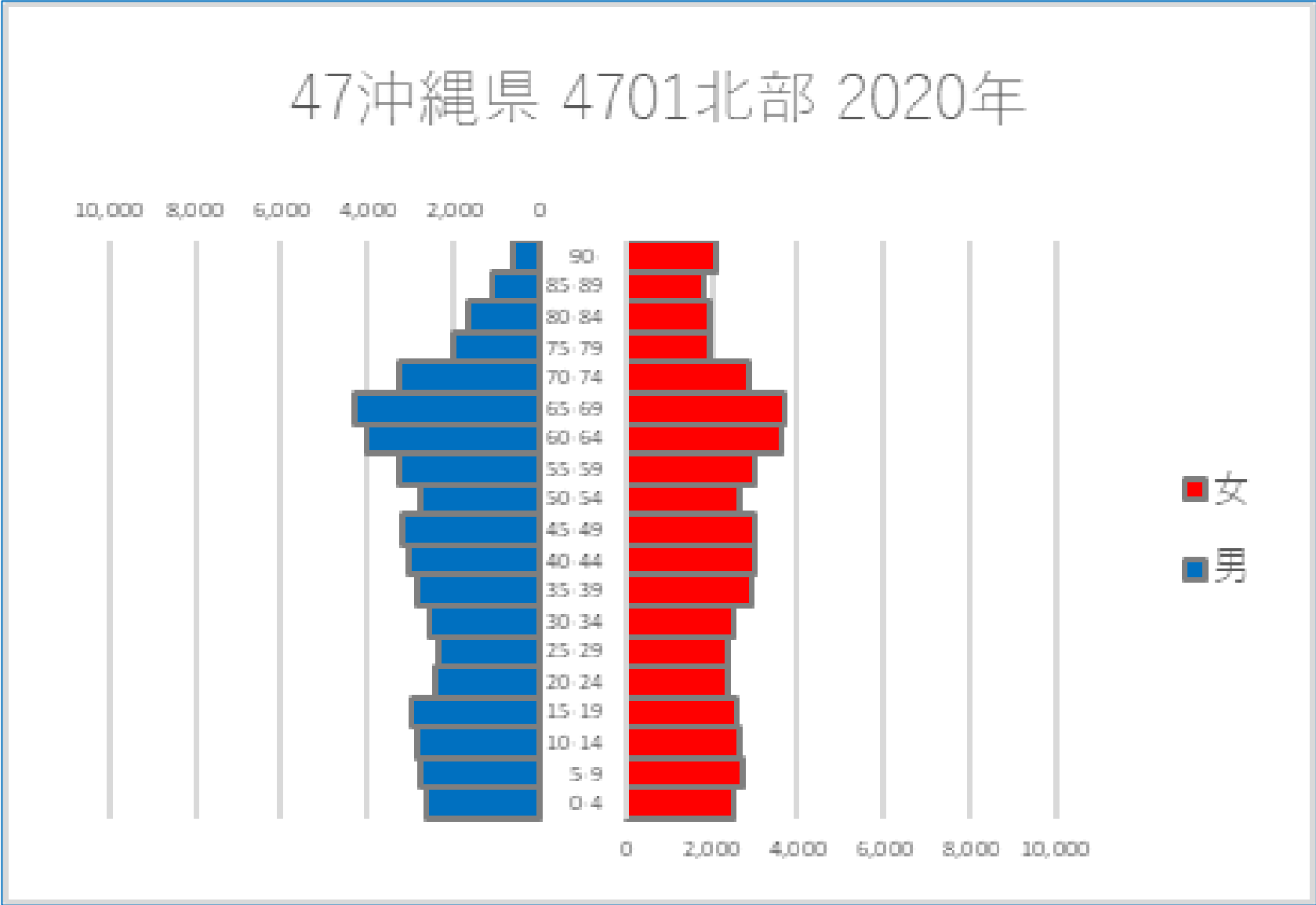
人口ピラミッドが逆ピラミッド形に。

05秋田県 0504秋田周辺 2040年



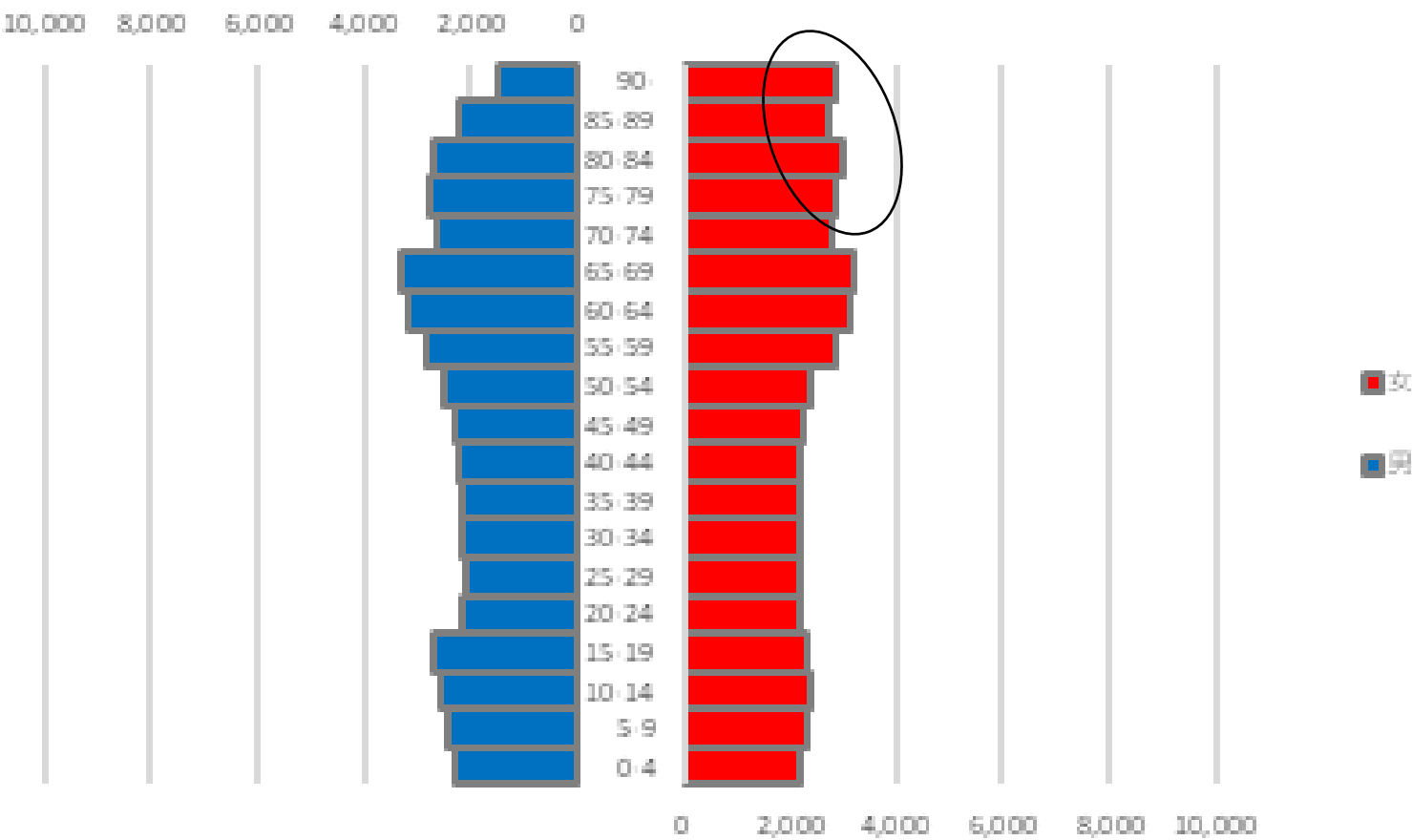
1人暮らし、持病あり、要介護、車なし...？ 人口規模が大きいのでインパクト也大

47沖縄県 4701北部 2020年



人口ピラミッドがだんだんフラットに。

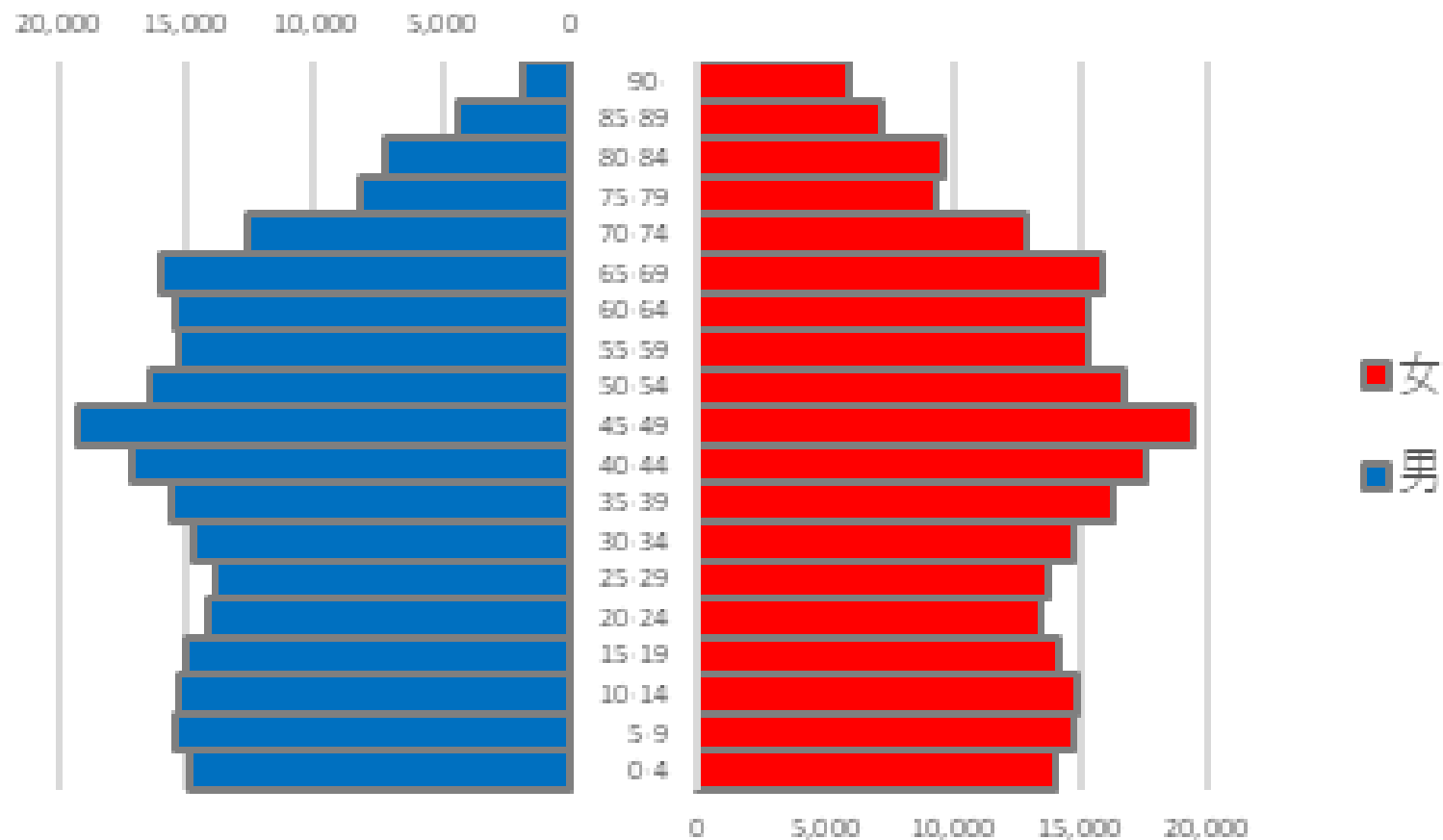
47沖縄県 4701北部 2040年



人口ピラミッドがフラットに。75歳以上女性のグループが出現

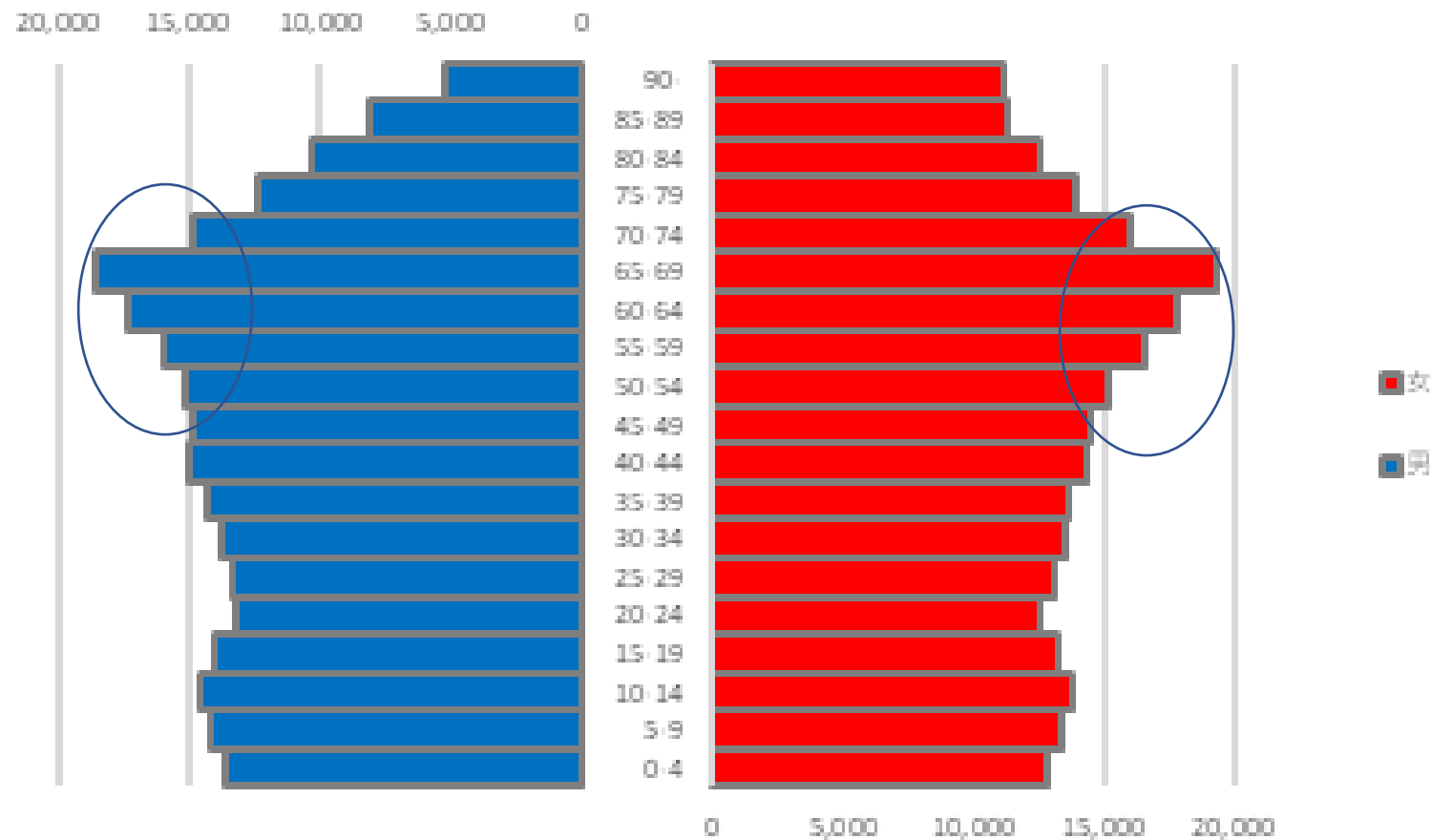
出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

47沖縄県 4702中部 2020年



人口ピラミッドが逆ピラミッド形に近づく。

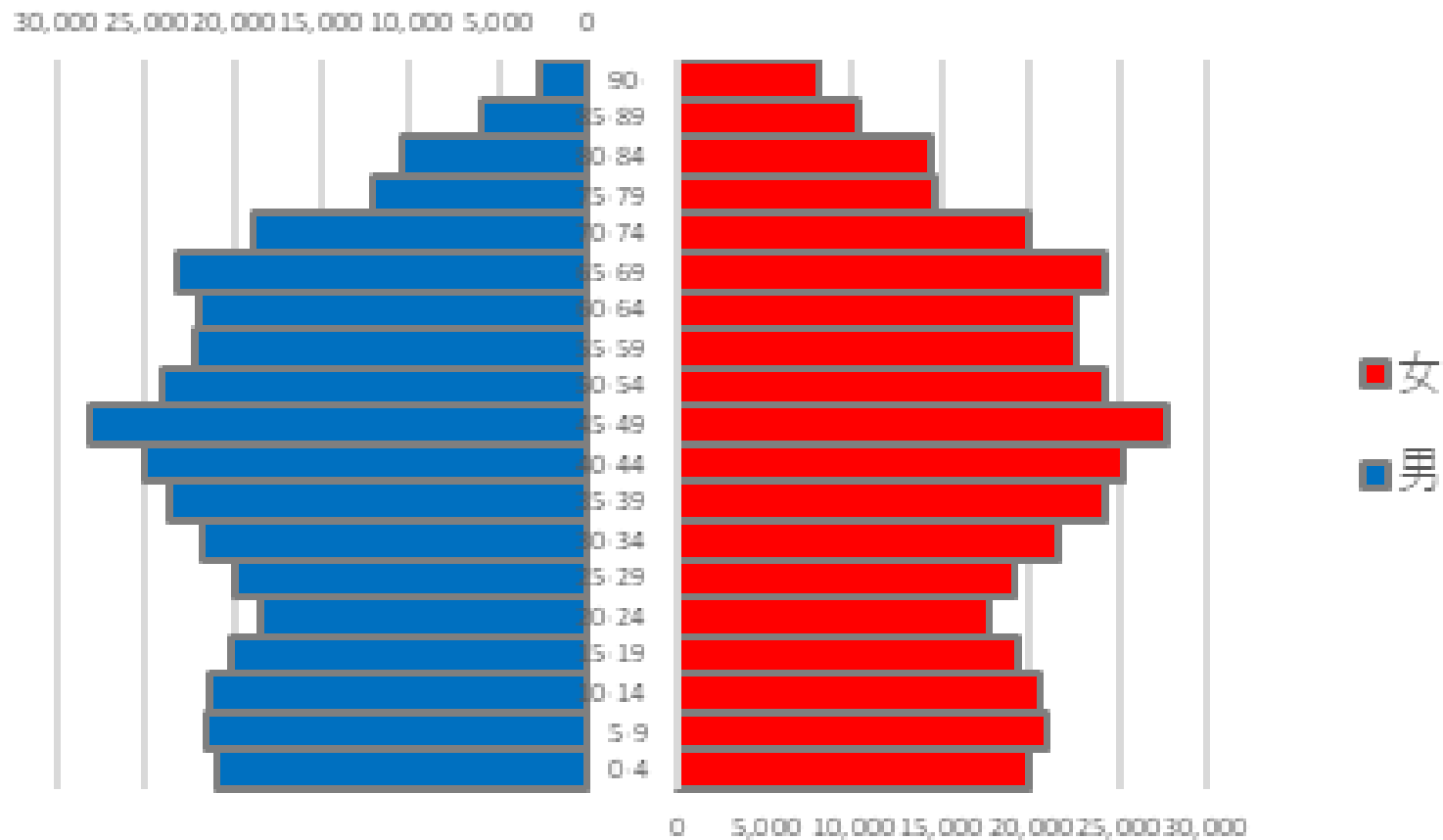
47沖縄県 4702中部 2040年



人口ピラミッドが逆ピラミッド形に近づく。70歳にボリュームゾーンが

出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

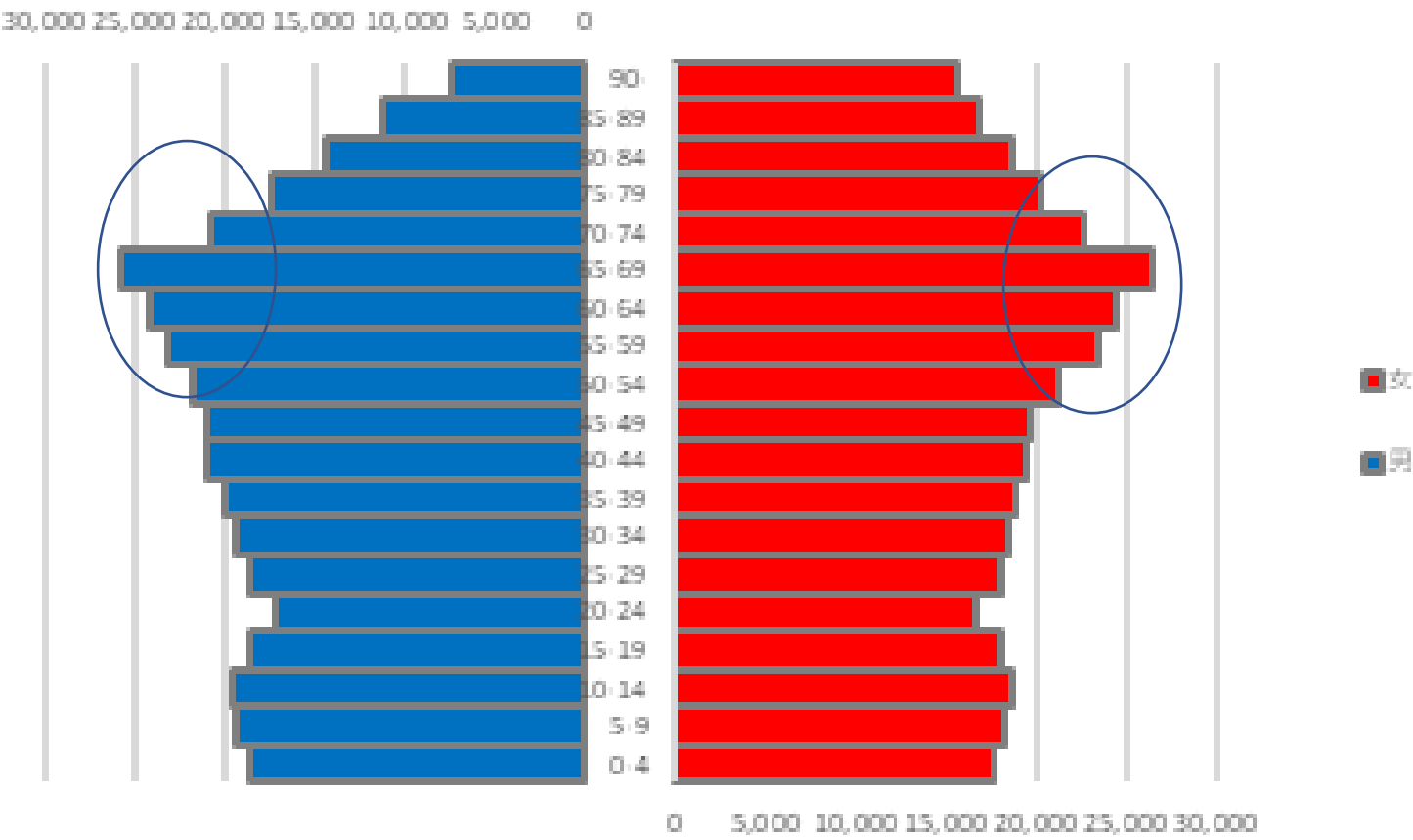
47沖縄県 4703南部 2020年



人口ピラミッドが逆ピラミッド形に近づく。

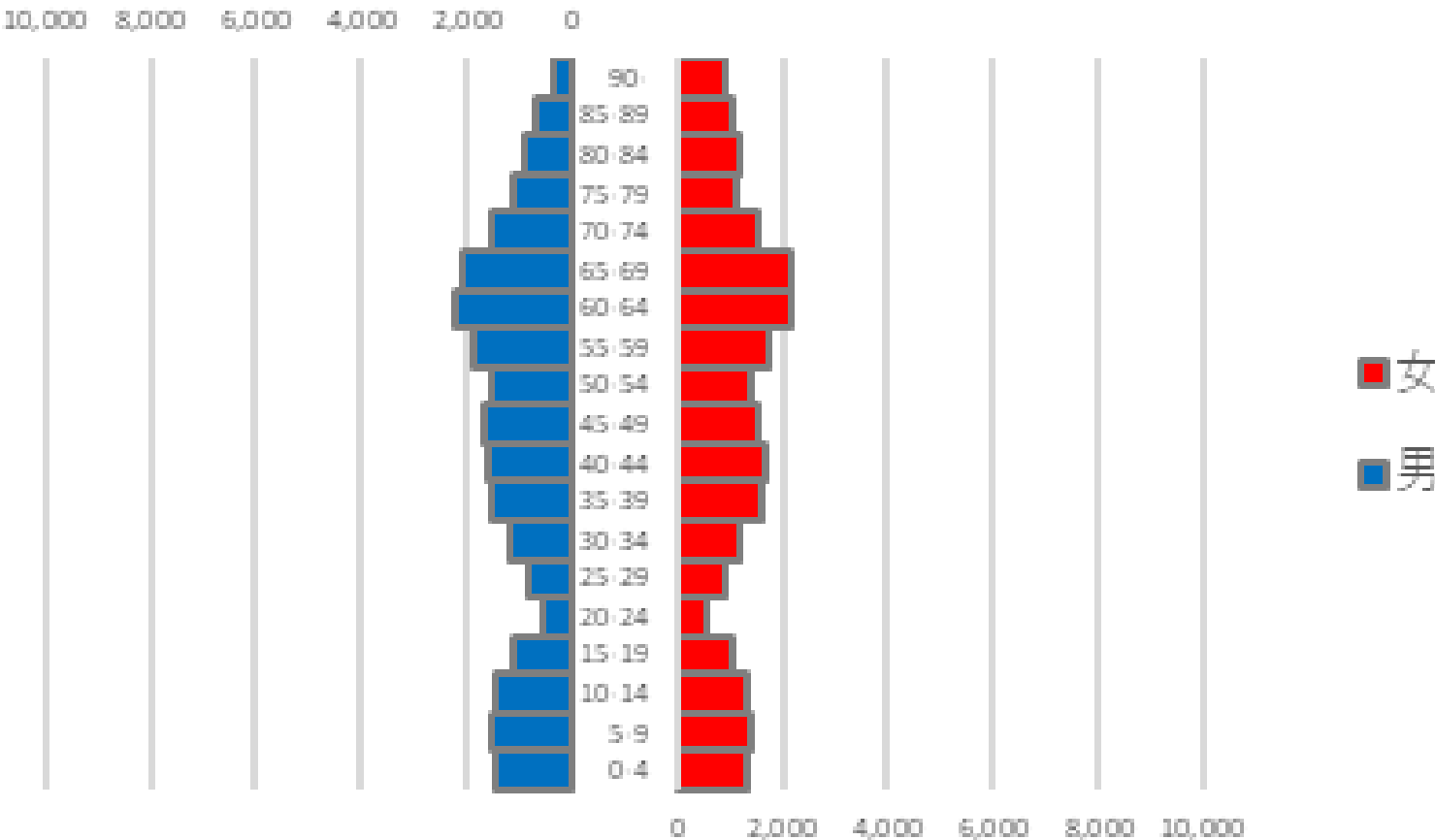
出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

47沖縄県 4703南部 2040年



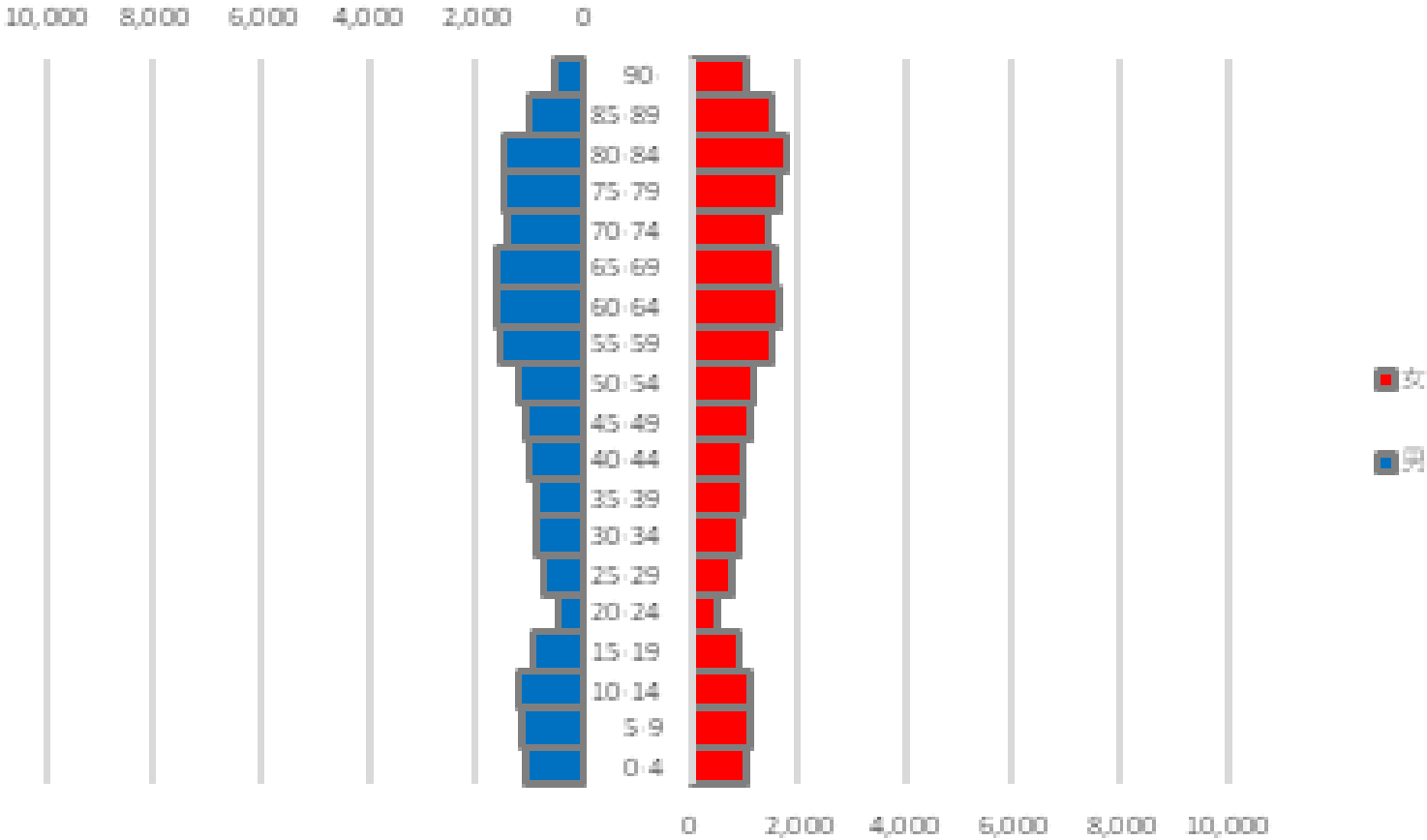
逆ピラミッド形に近づき、65歳～70歳とその前後にボリュームゾーンが生じる

47沖縄県 4704宮古 2020年



コーラ瓶形？

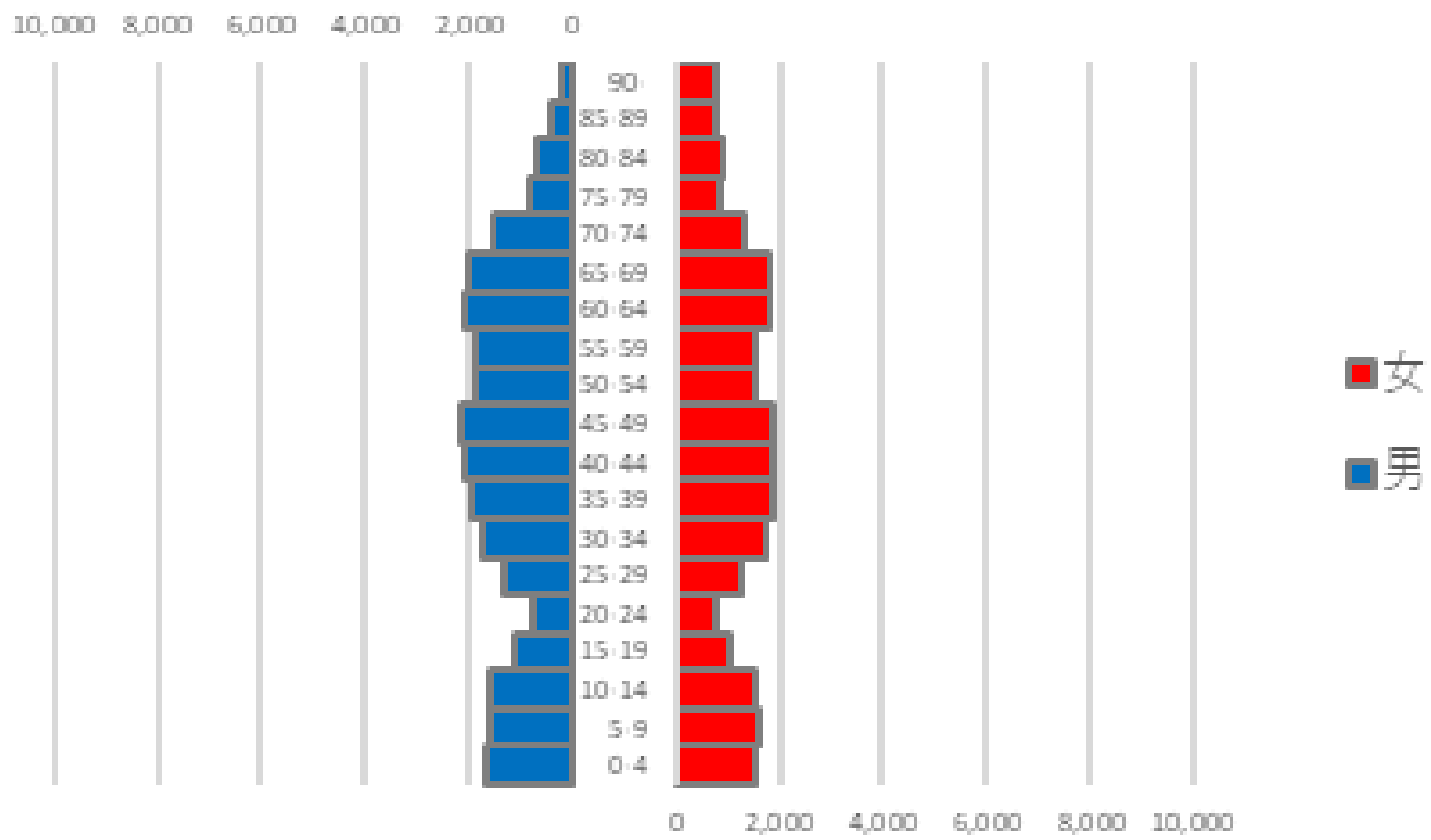
47沖縄県 4704宮古 2040年



コーラ瓶形？ 上が厚く下がスリムに

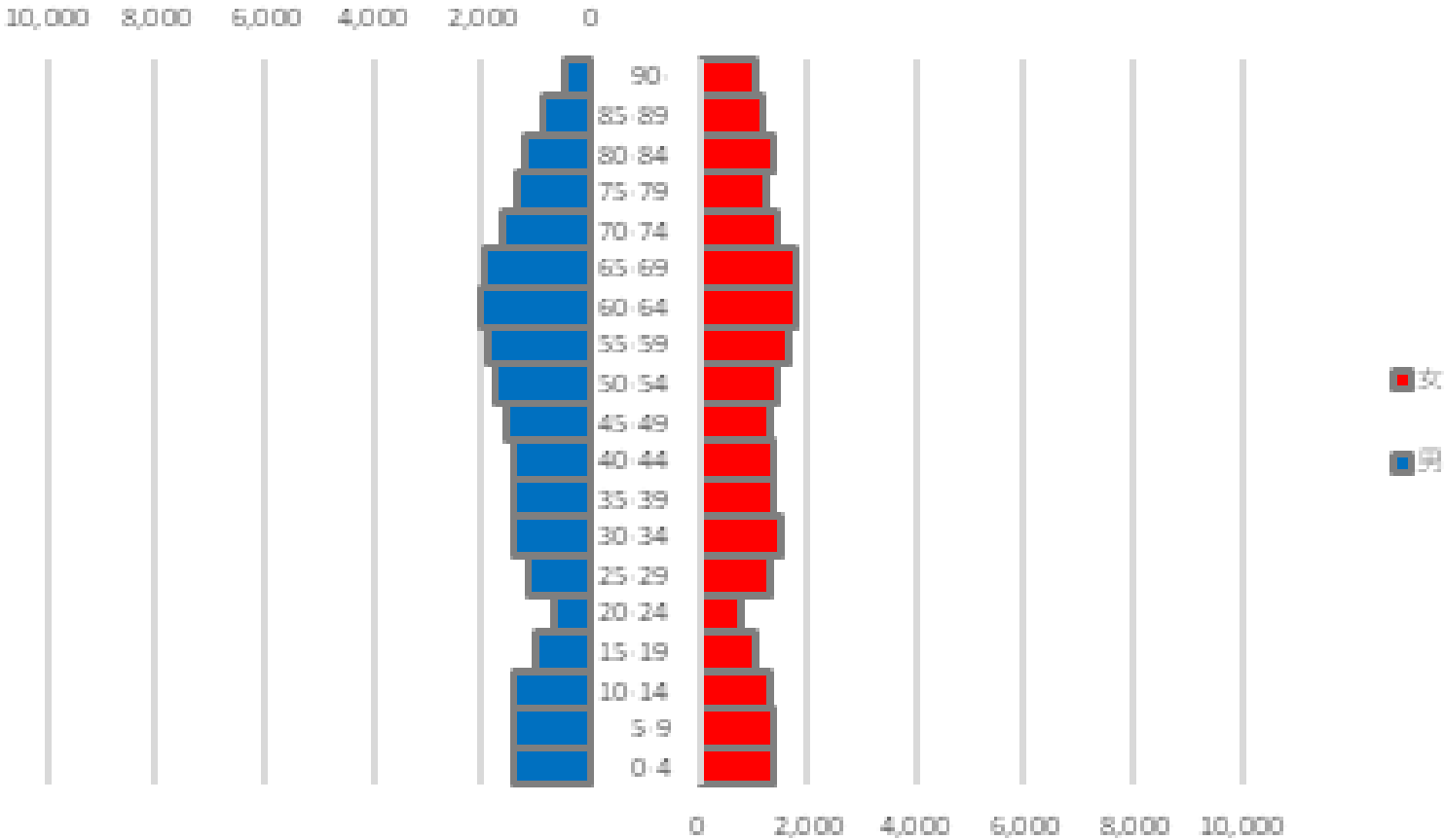
出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

47沖縄県 4705八重山 2020年



コーラ瓶形？

47沖縄県 4705八重山 2040年

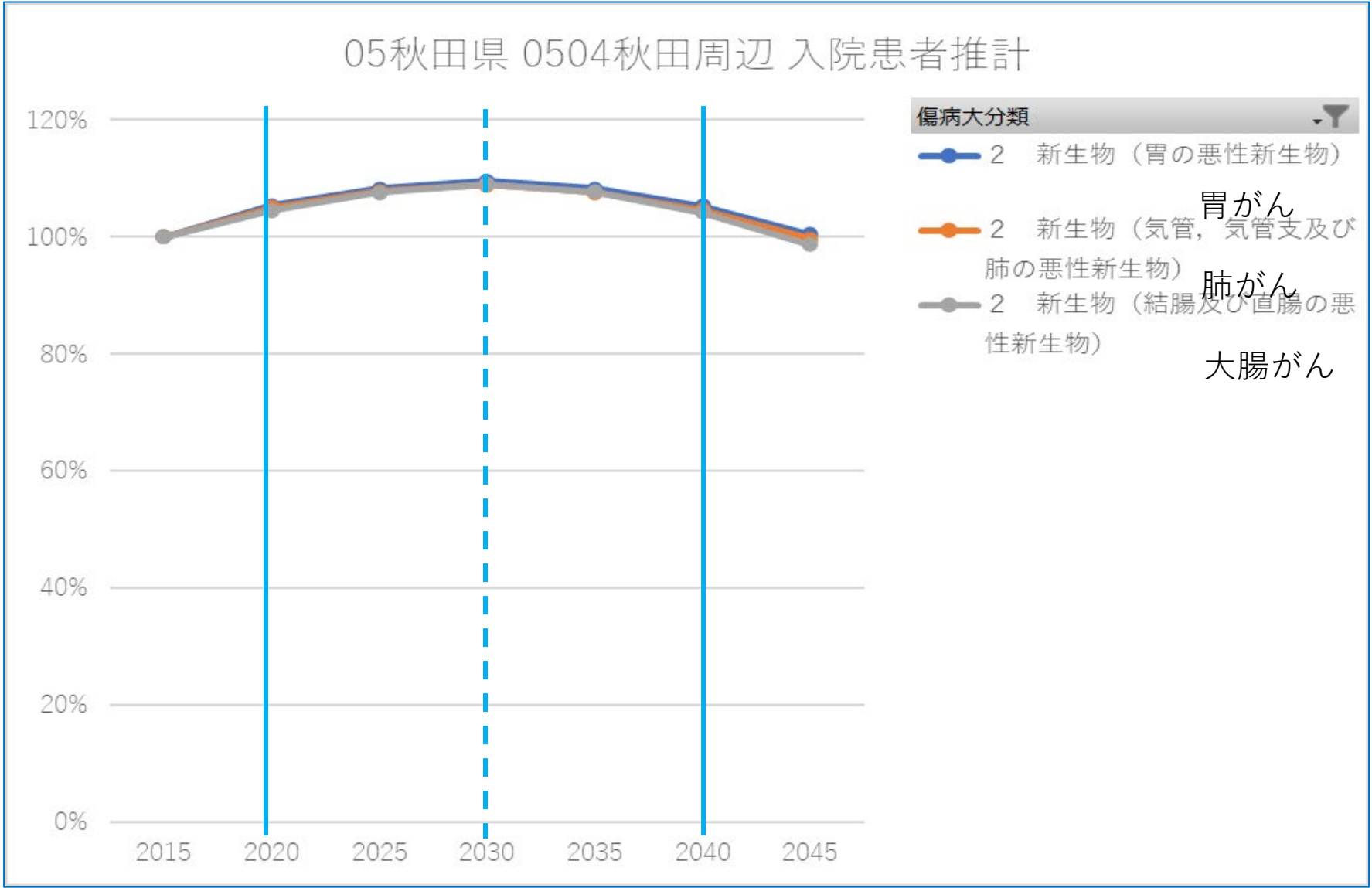


コーラ瓶形？ 上が厚く下がスリムに

出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

将来需要（患者推計）
の確認

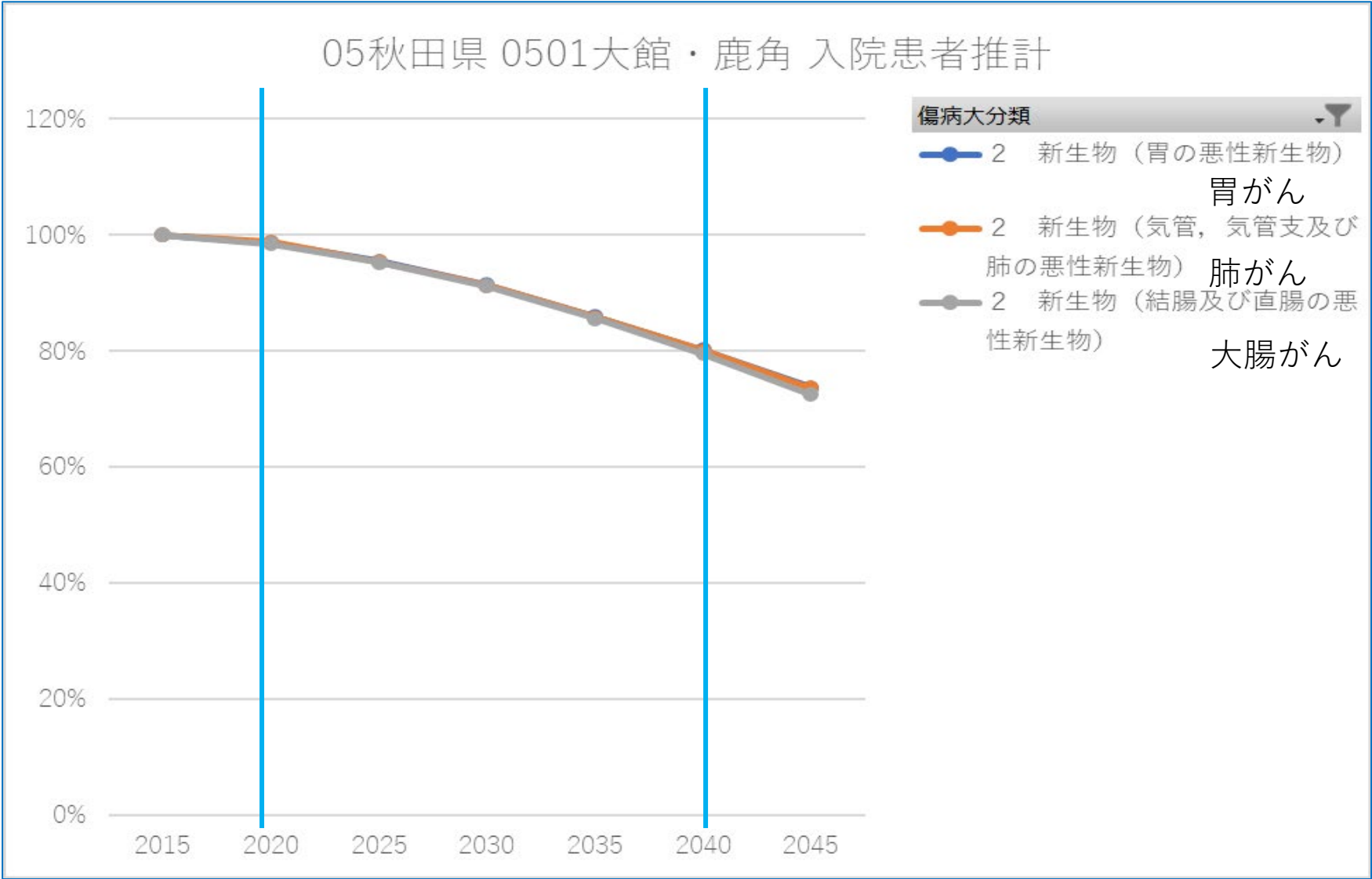
これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（秋田市周辺）



1割程度増えてピークを越えて減少する

出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

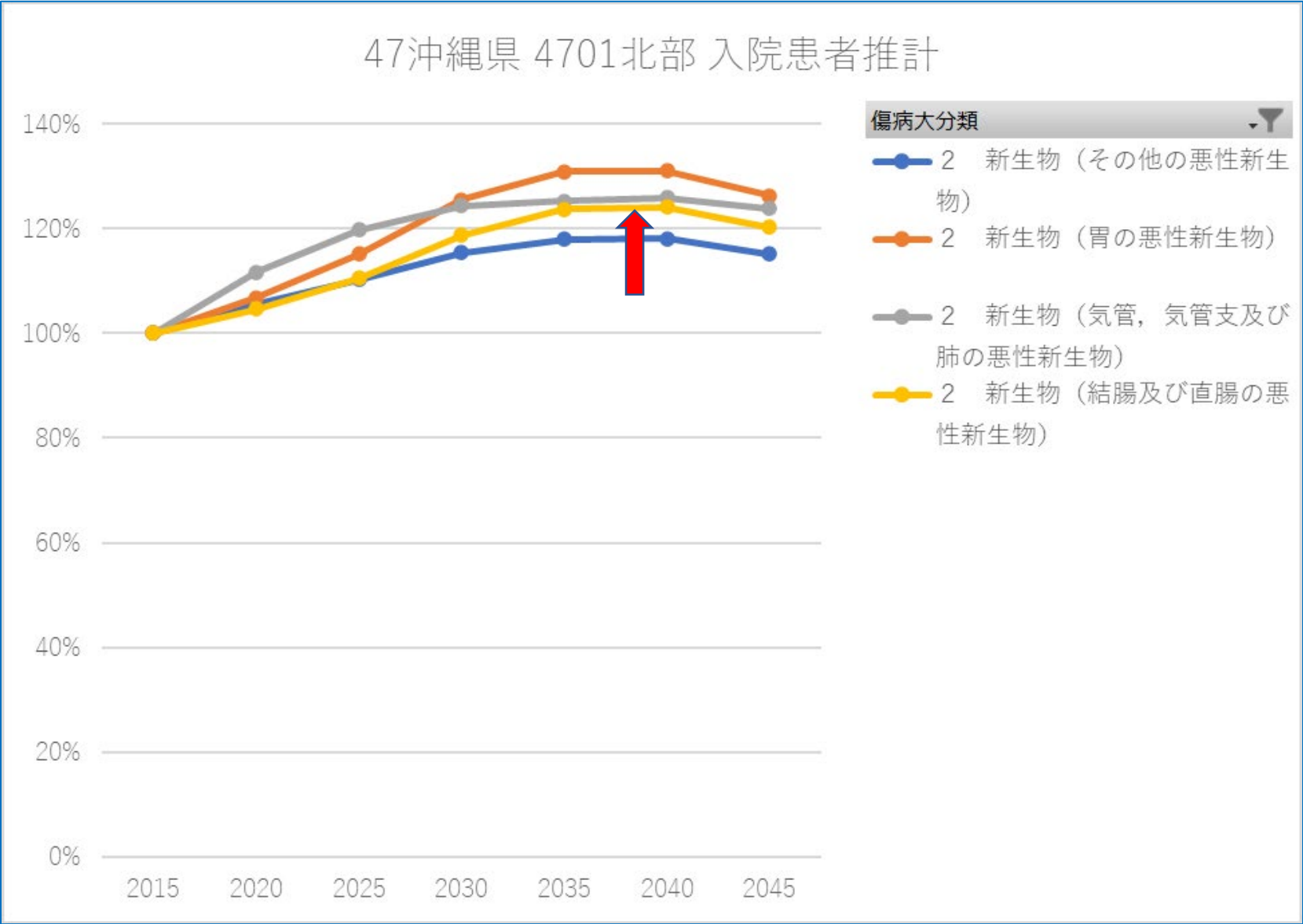
これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（大館・鹿角）



すでにピークを越えて減少している

出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

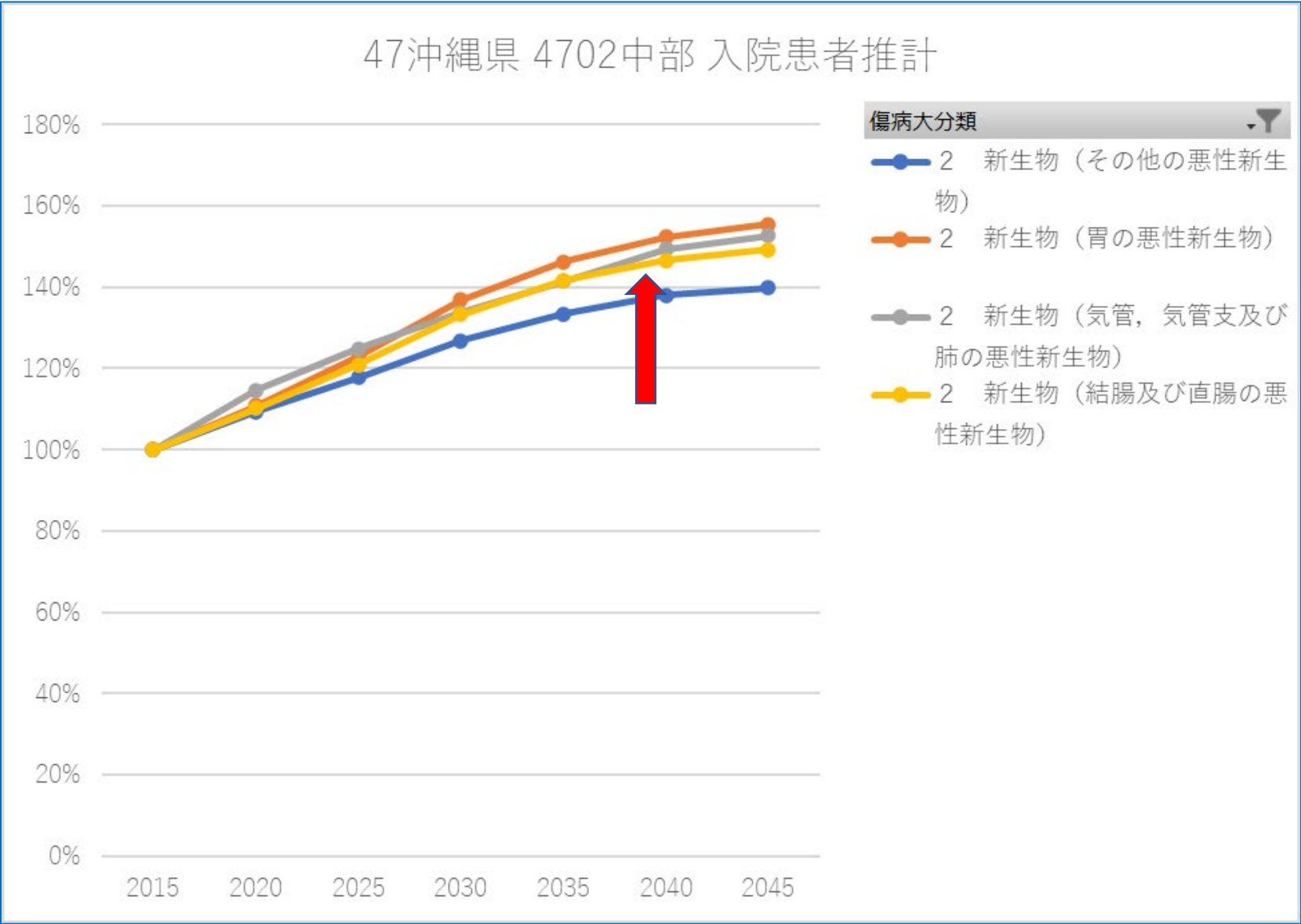
これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（北部医療圏）



2～3割程度増えてピークを越えて減少に転じる

出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

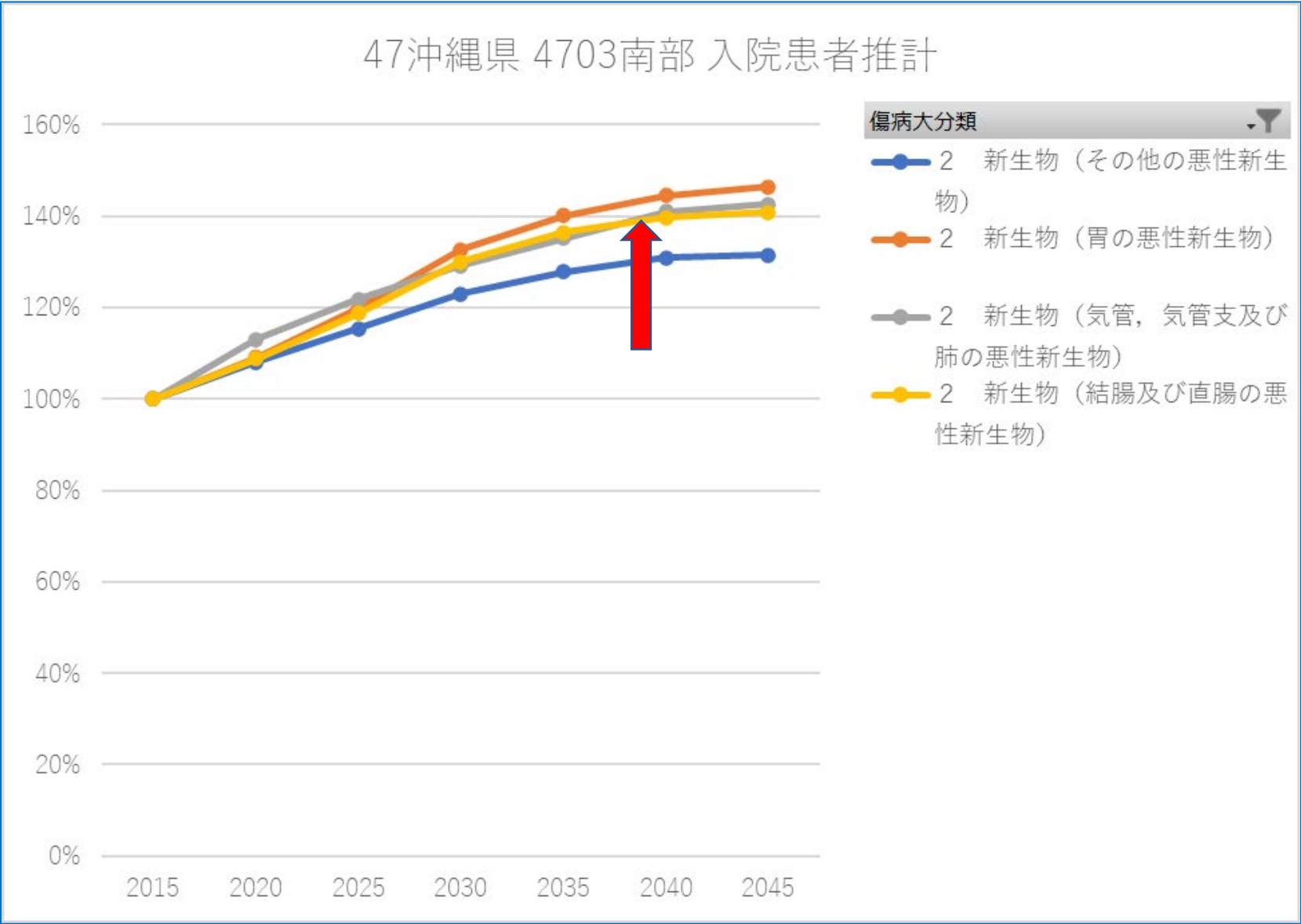
これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（中部医療圏）



5割程度増えていく

出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

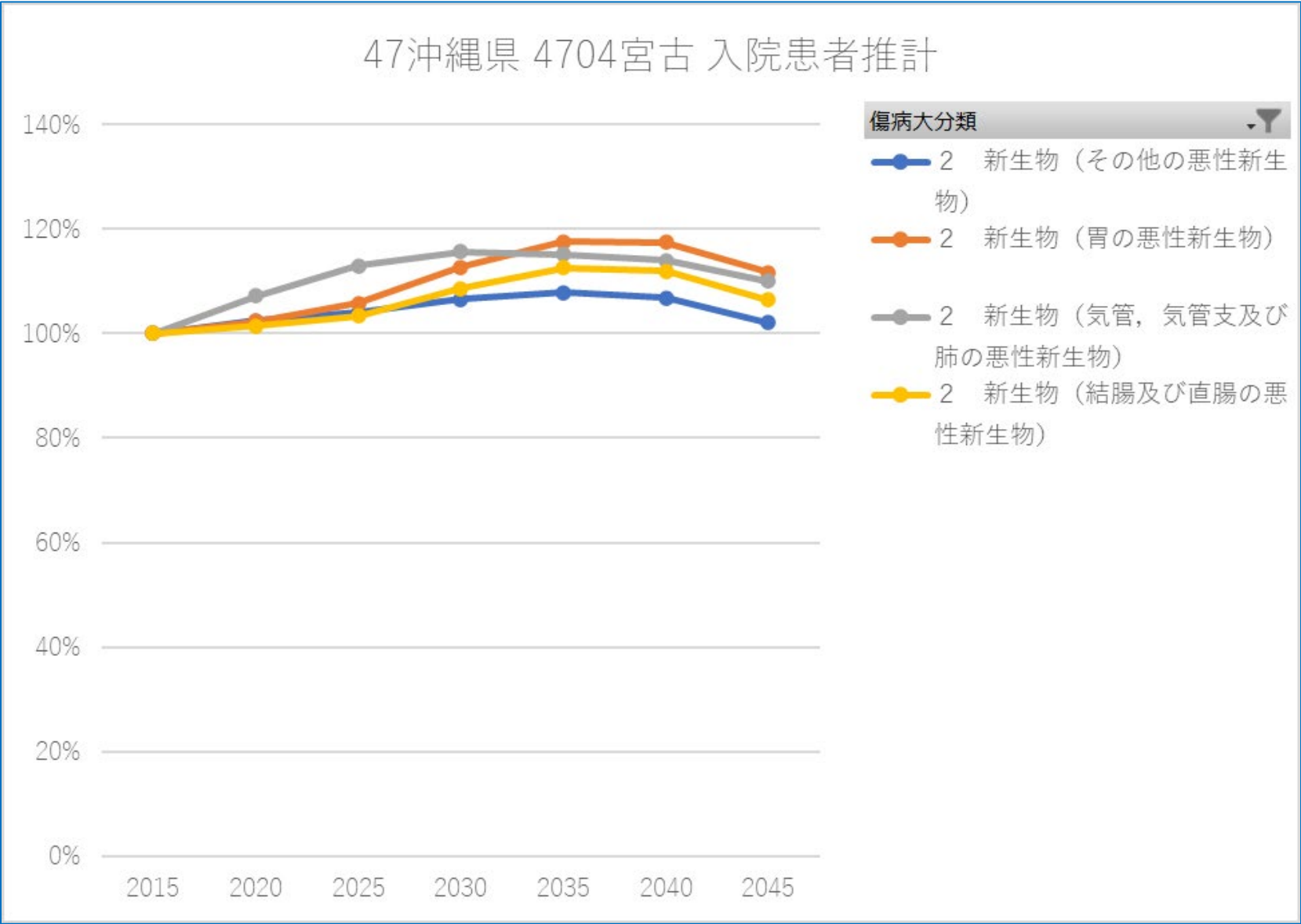
これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（南部医療圏）



4割程度増えていく

出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

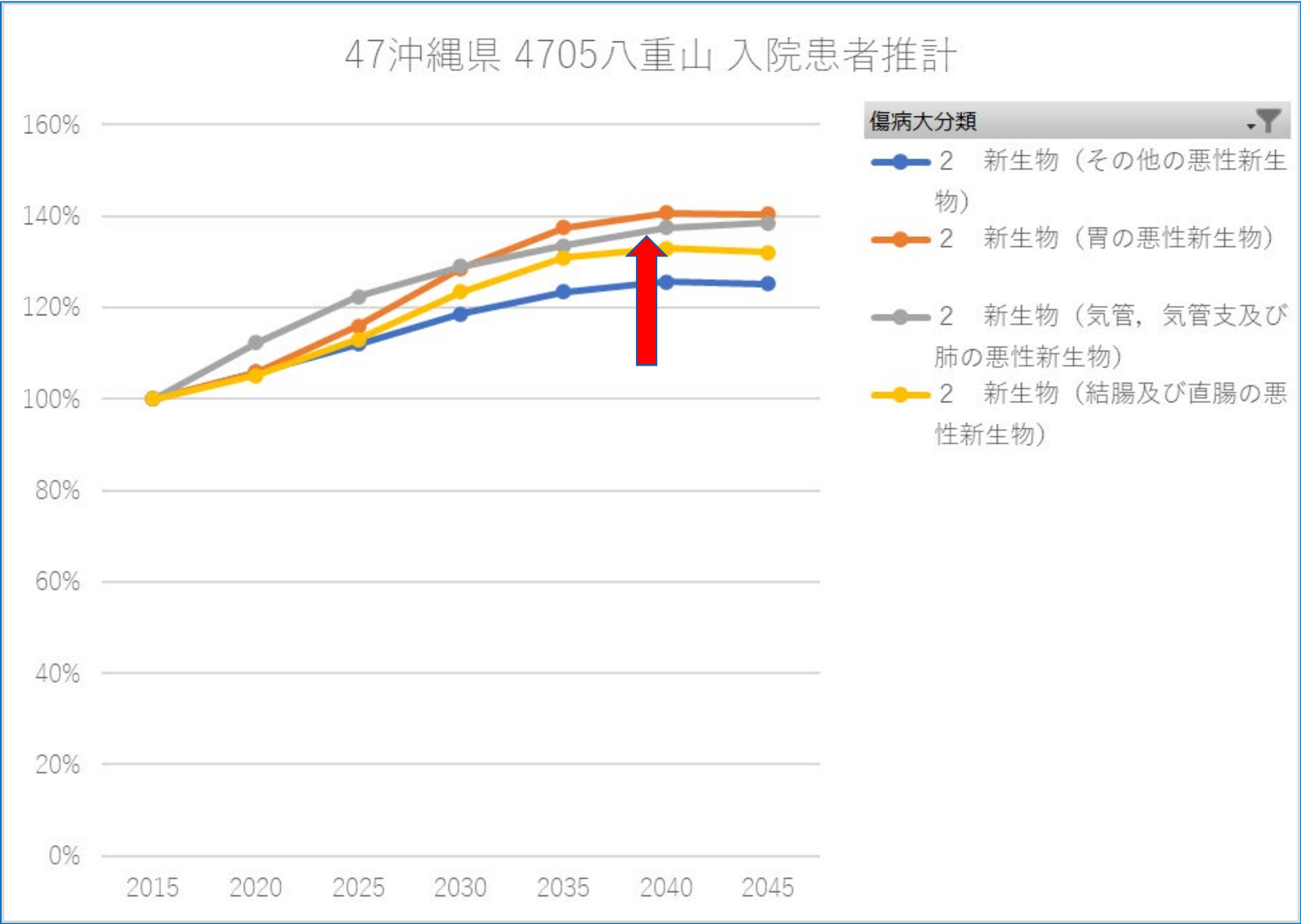
これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（宮古医療圏）



1割前後増えてピークを越えて減少する

出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

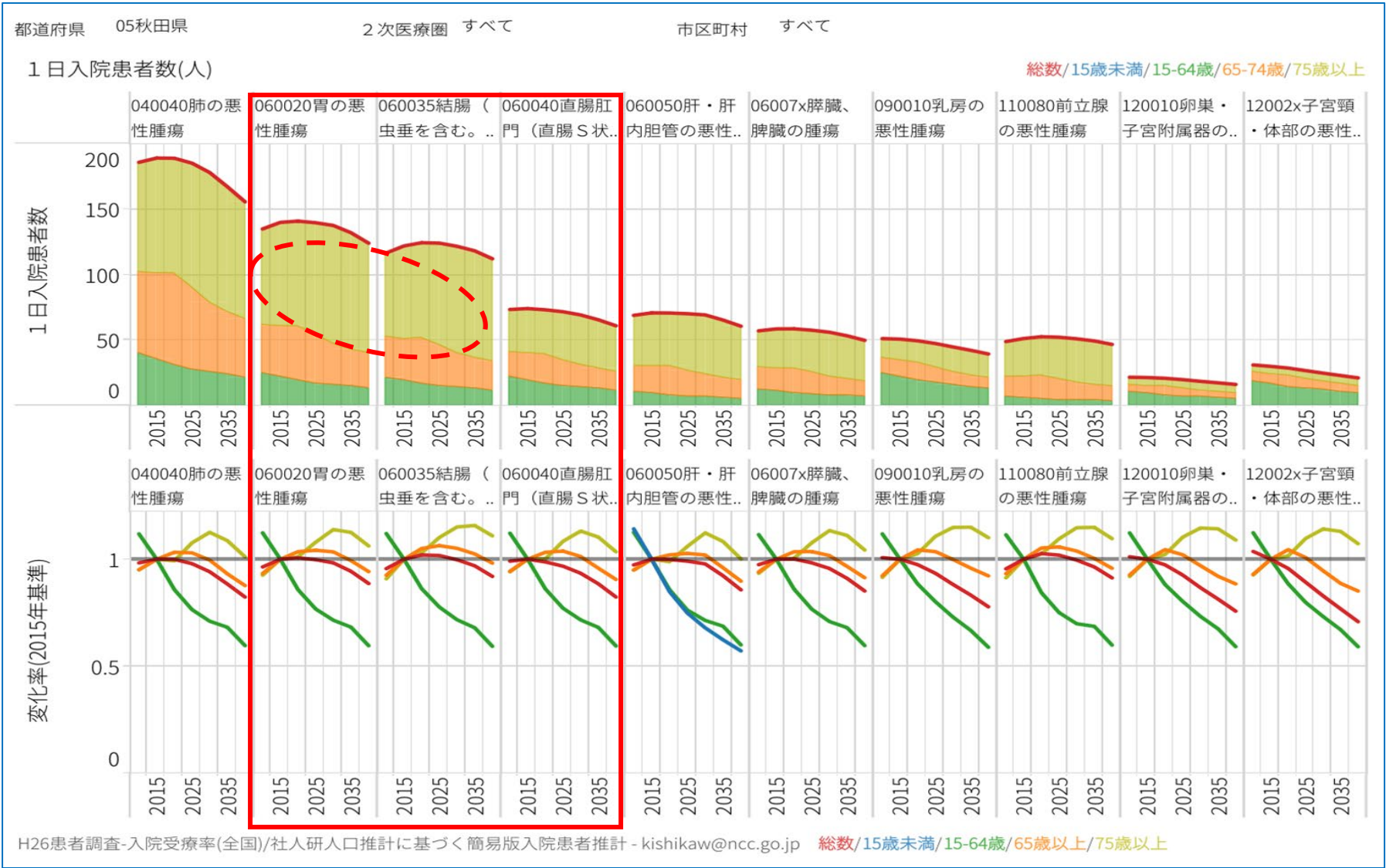
これから20年、がん患者〔入院〕の増減は？（八重山医療圏）



3～4割増えてフラットになる

出典：産業医科大学地域別人口変化分析ツール(AJAPA)により作図

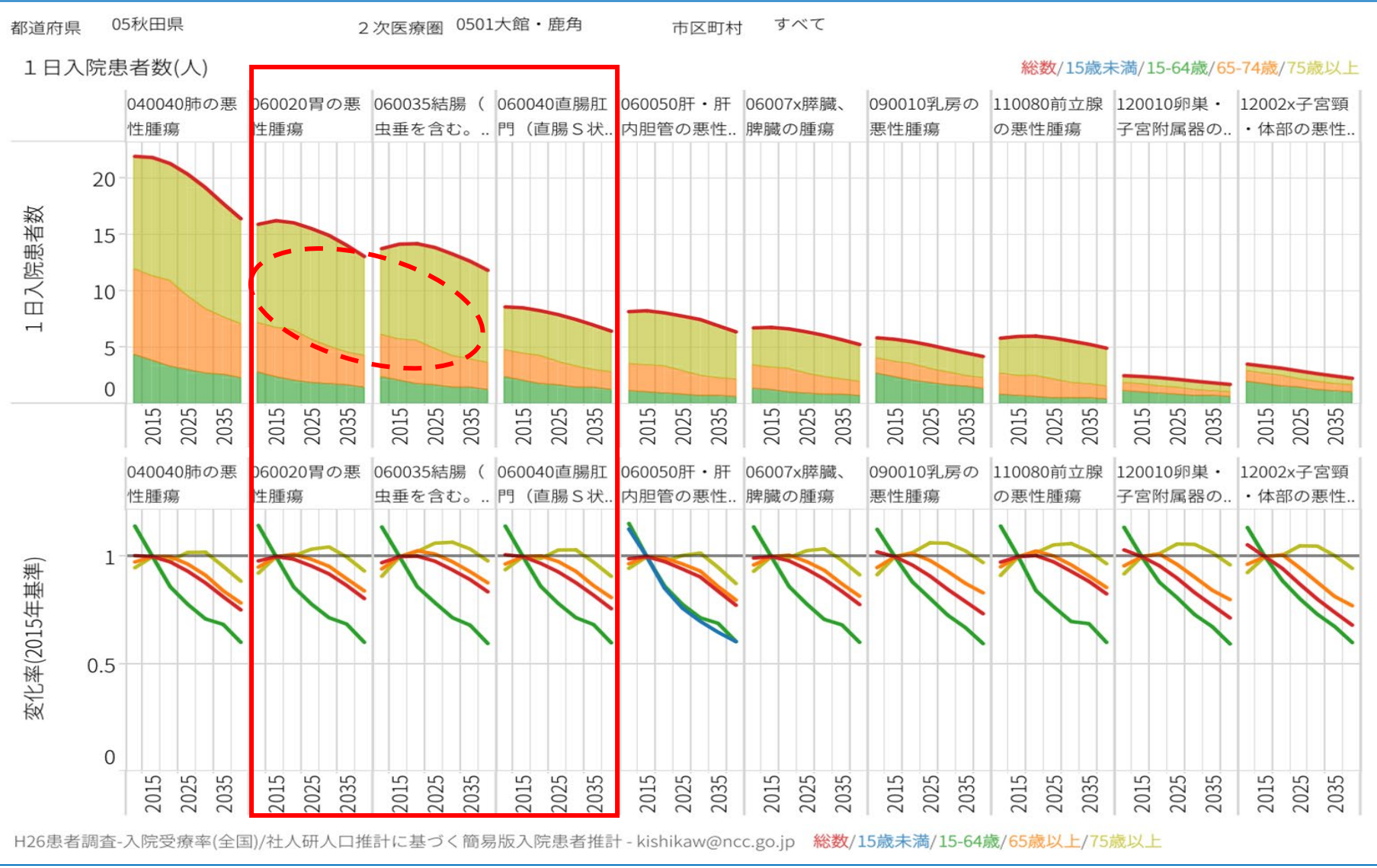
これから10年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（秋田県）



75歳以上の患者が増える

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

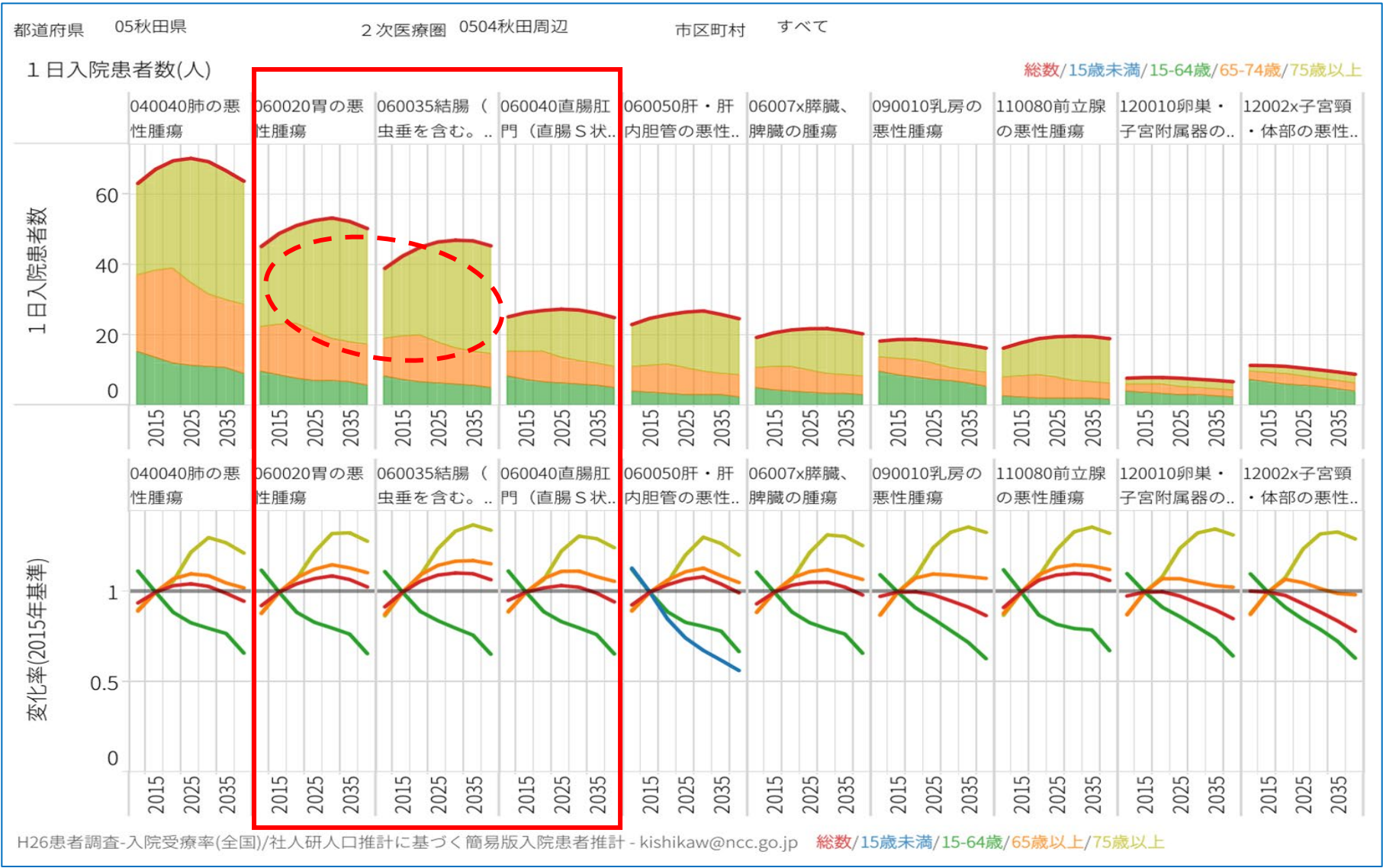
これから10年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（大館・鹿角）



75歳以上の患者がすでに大半

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

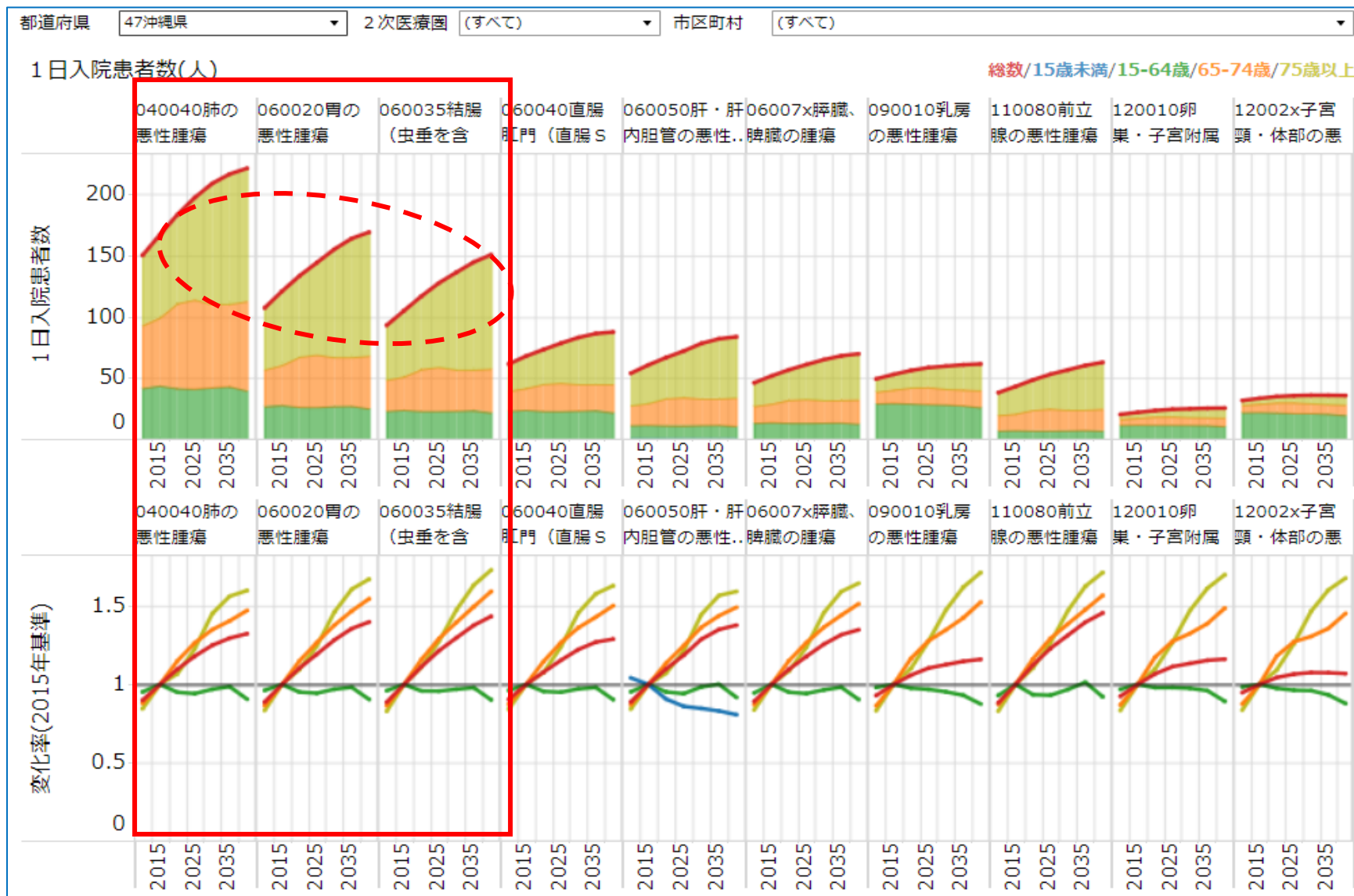
これから10年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（秋田周辺）



75歳以上の患者が急増する。分母も大きい

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（沖縄県全体）



75歳以上の患者が大幅に増える

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト

<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

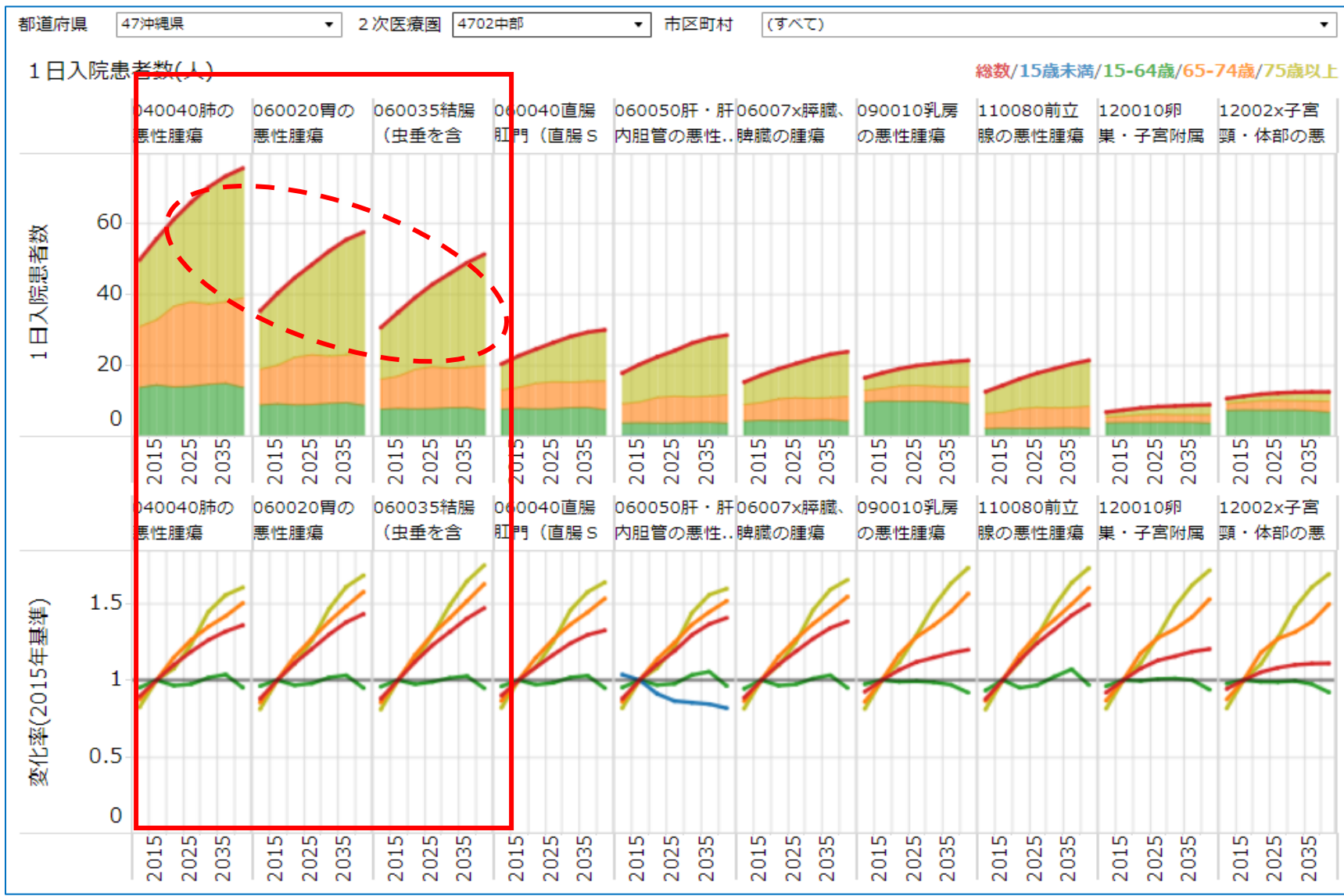
これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（北部医療圏）



75歳以上の患者が大幅に増える

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

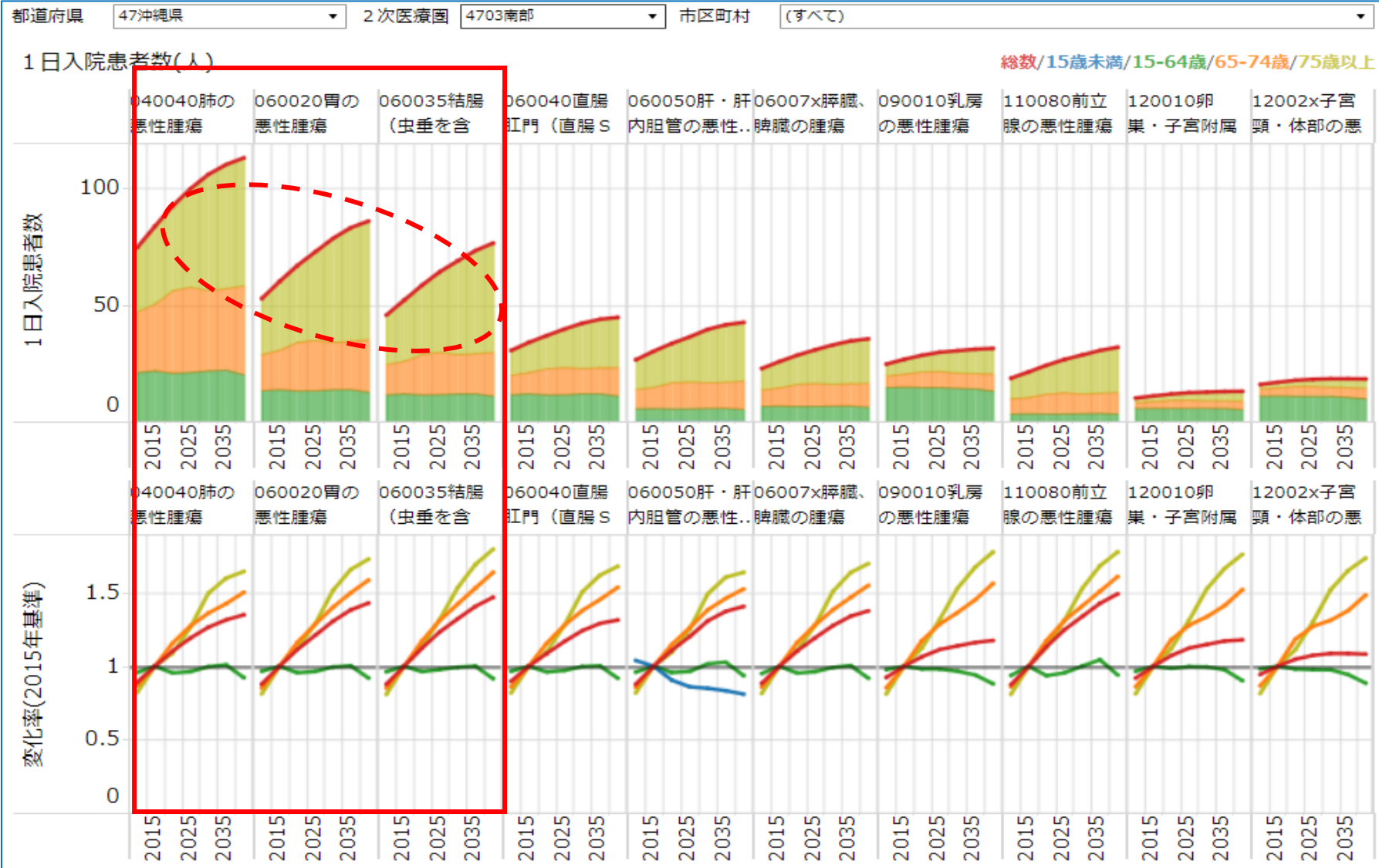
これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（中部医療圏）



75歳以上の患者が大幅に増える。分母の大きい

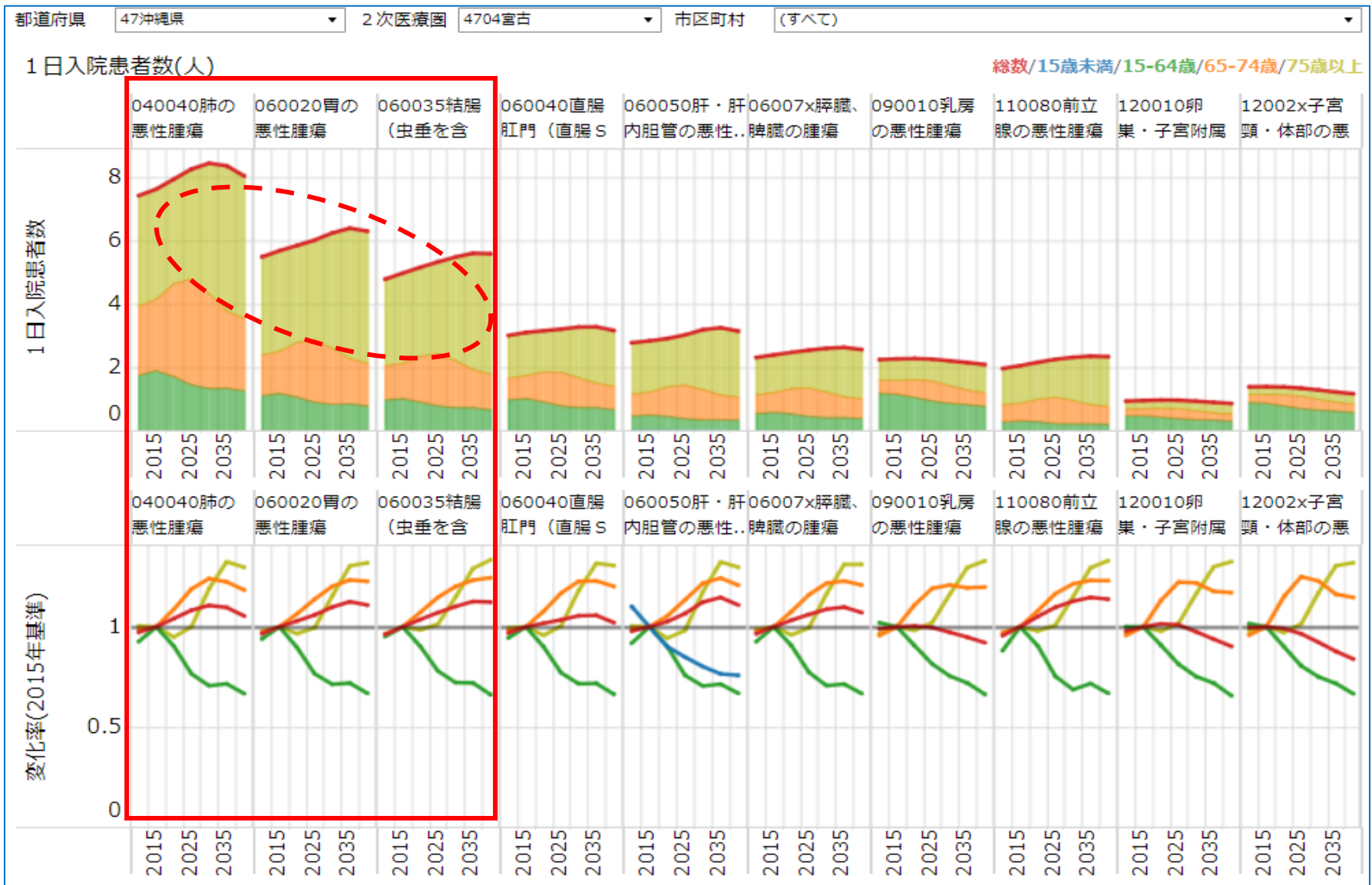
出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（南部医療圏）



75歳以上の患者が大幅に増える。分母も大きい

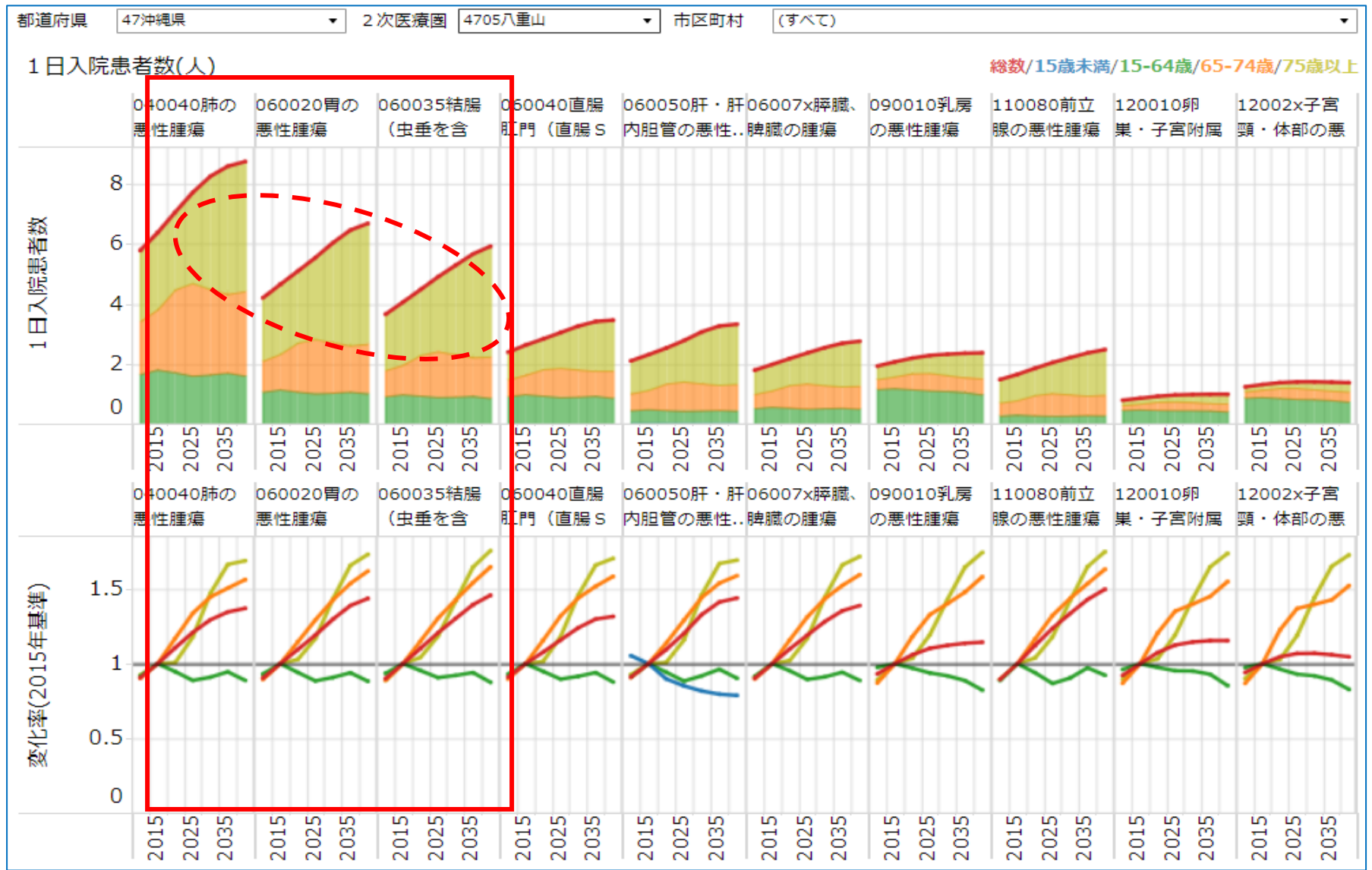
これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（宮古医療圏）



75歳以上の患者が大幅に増える

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

これから20年、どの年代の患者〔入院〕が増える？（八重山医療圏）



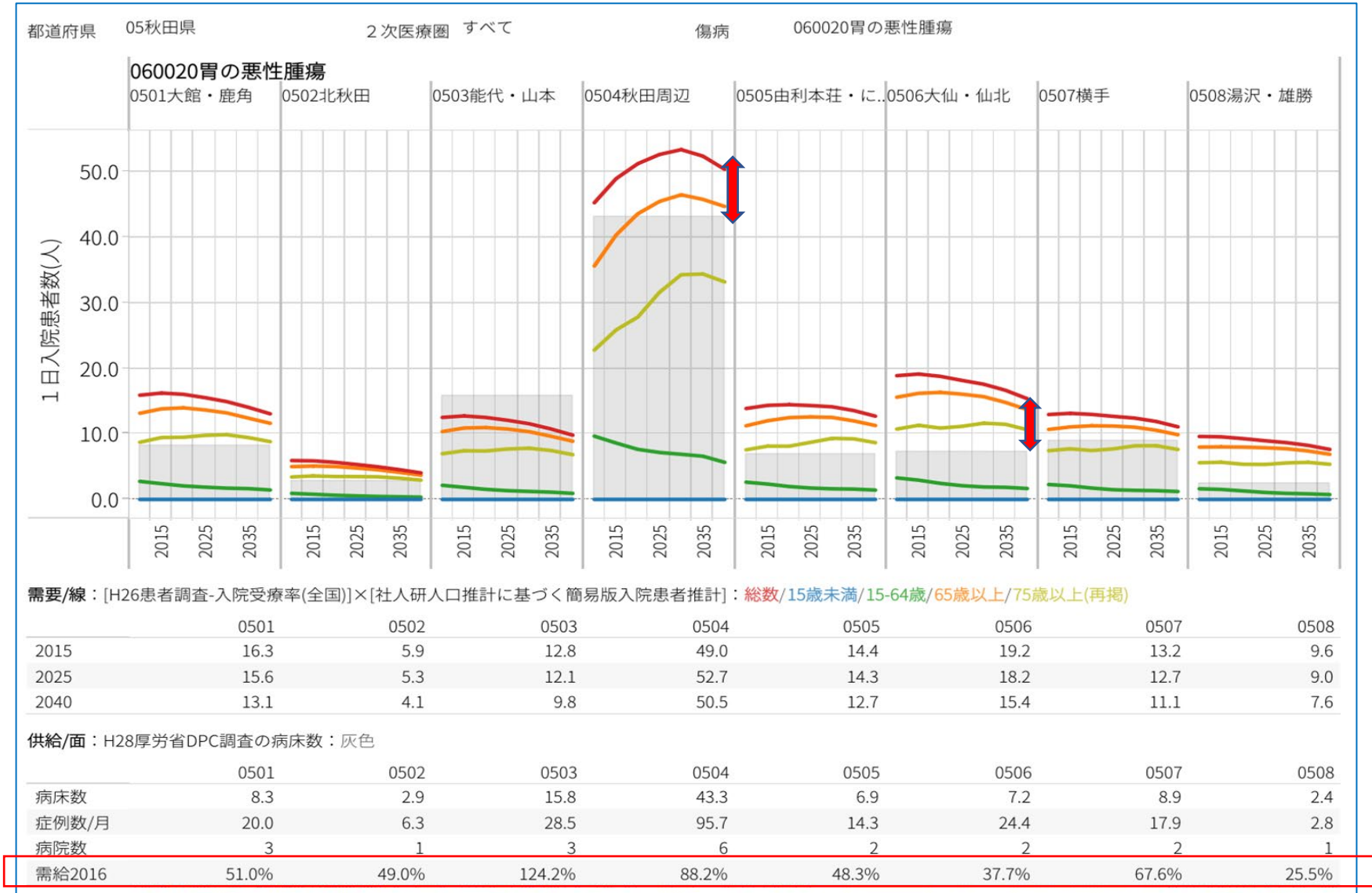
75歳以上の患者が大幅に増える

出典：石川ベンジャミン光一先生Tableauサイト
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/EstPat2016/sheet2>

需給ギャップ推計 の確認

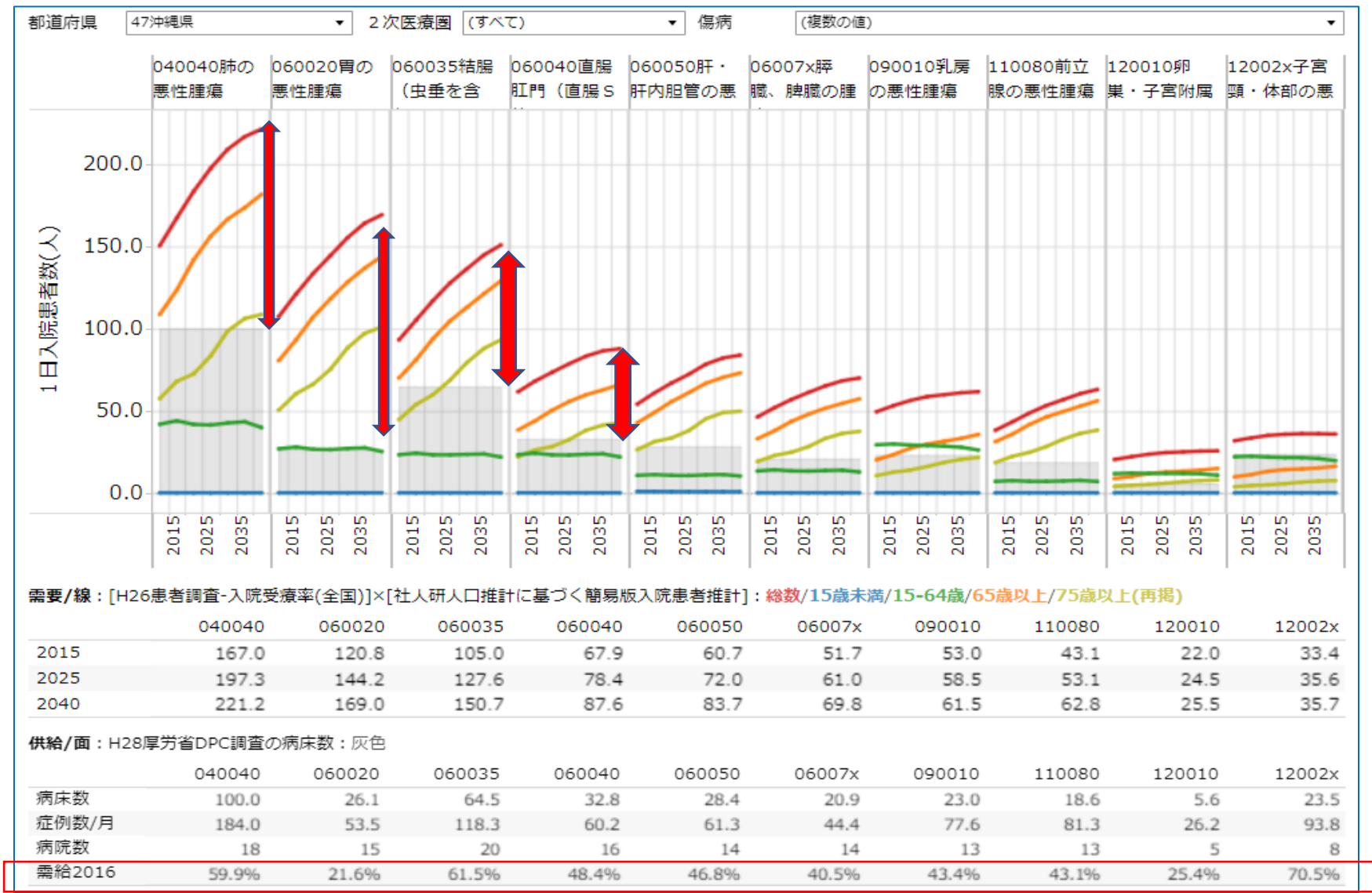
* 需要は既存値を将来人口に引き当てただけであり、供給は**DPC**部分だけを勘案しているというデータ上の限界があります

これから10年の需給ギャップを今どのように埋めるか（秋田県。胃がん、医療圏別）



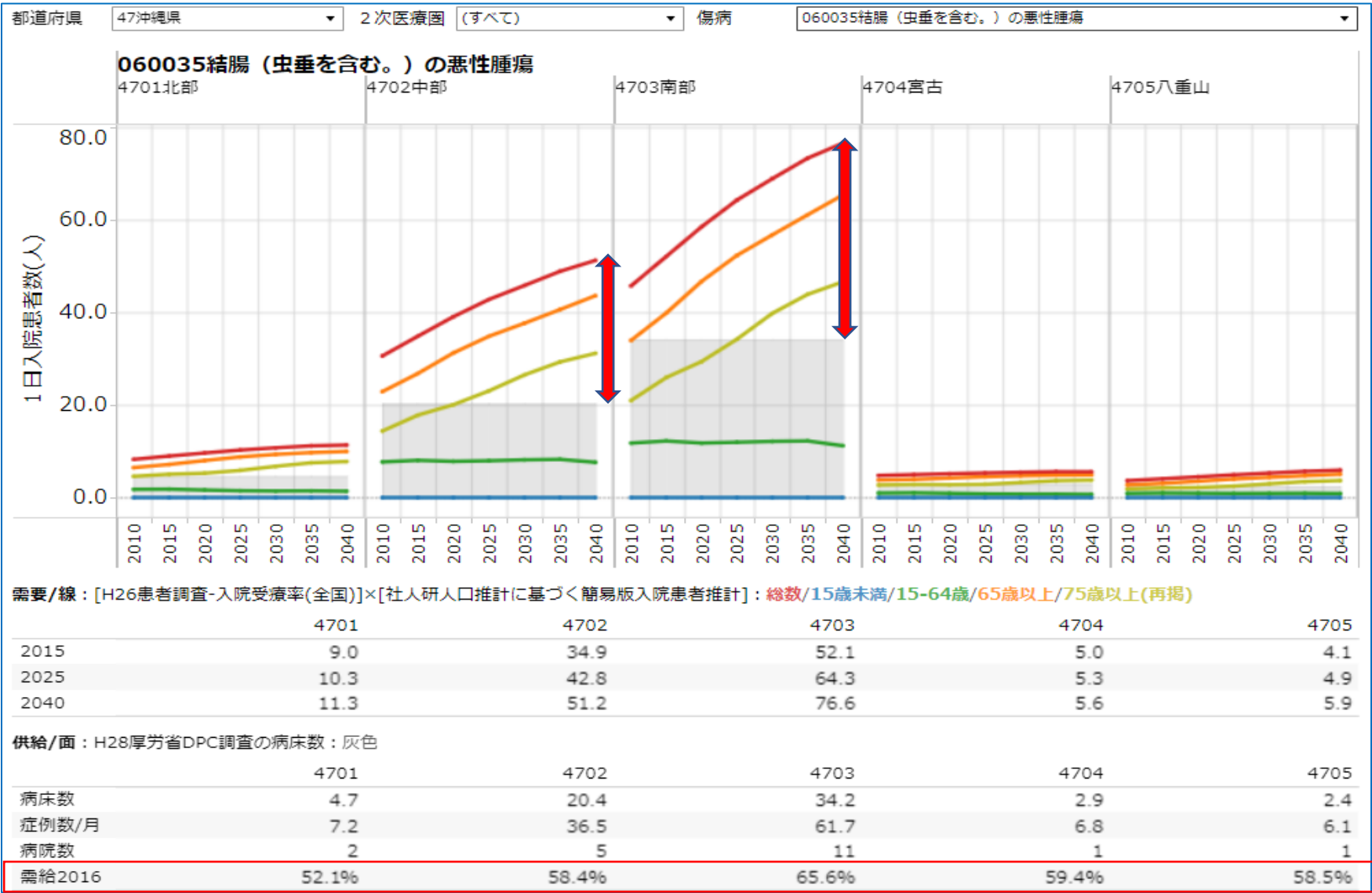
推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。ギャップを予想して埋める必要性

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。10種のがん）



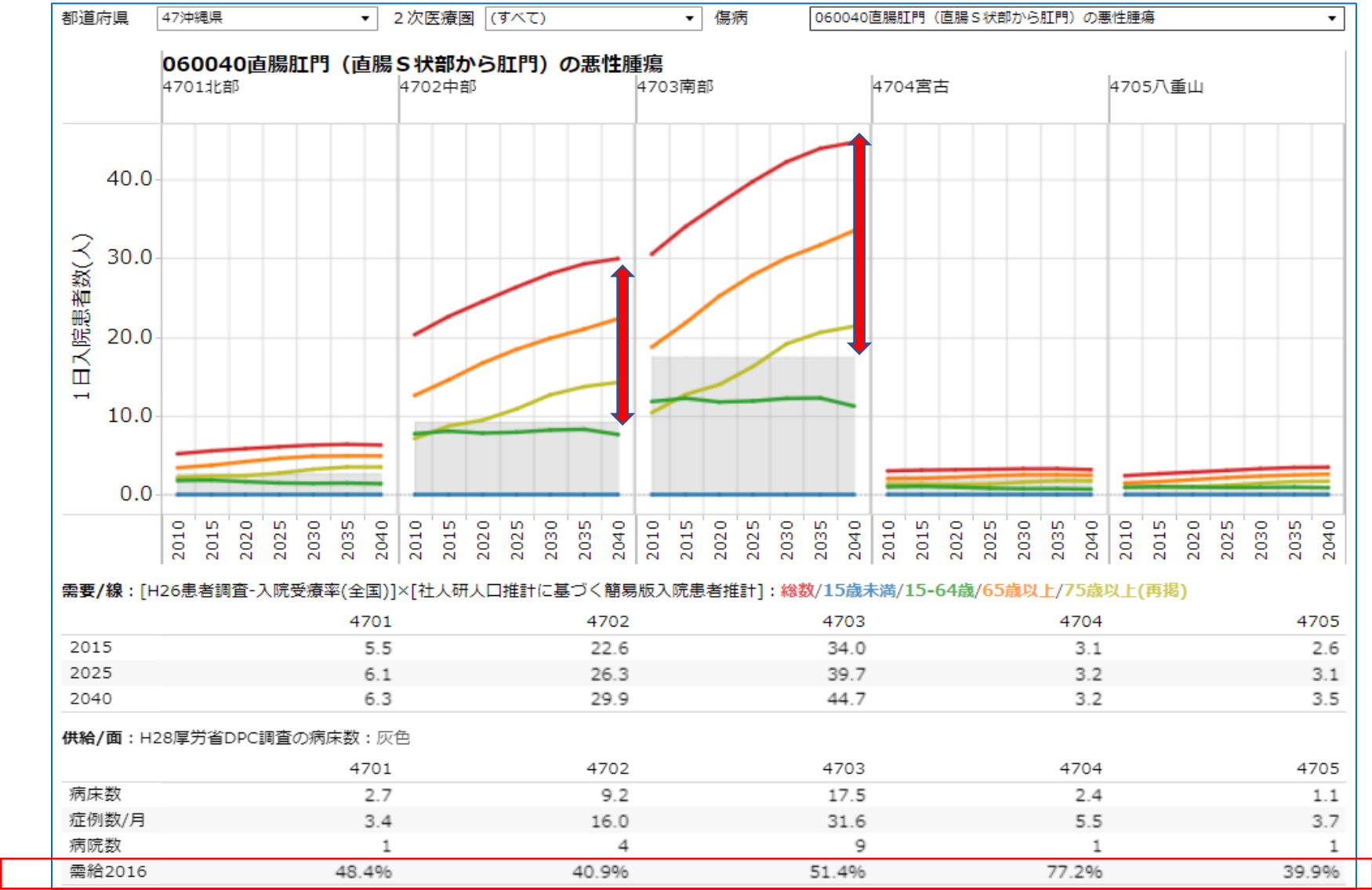
推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。結腸がん、医療圏別）



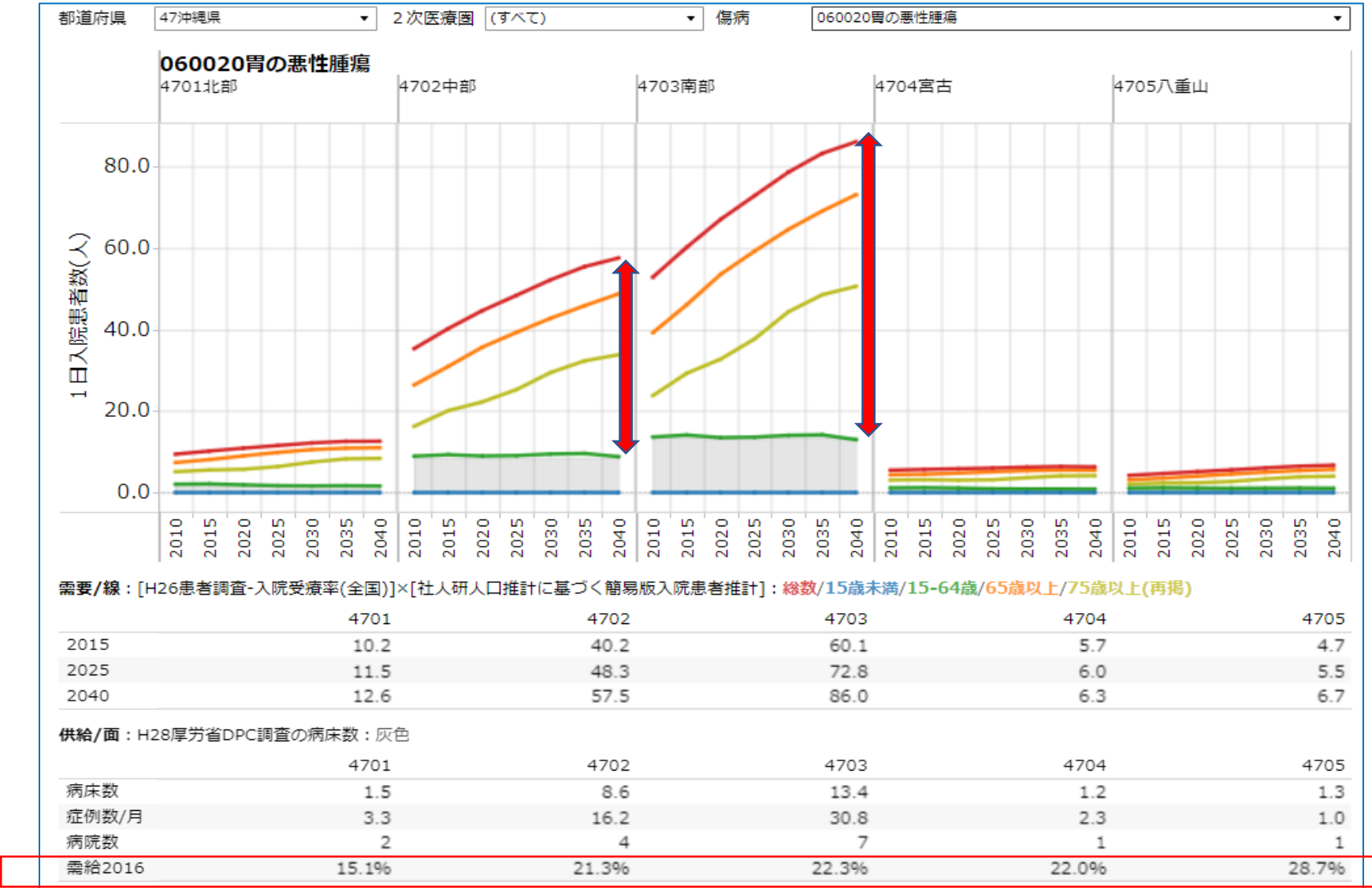
推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。直腸がん、医療圏別）



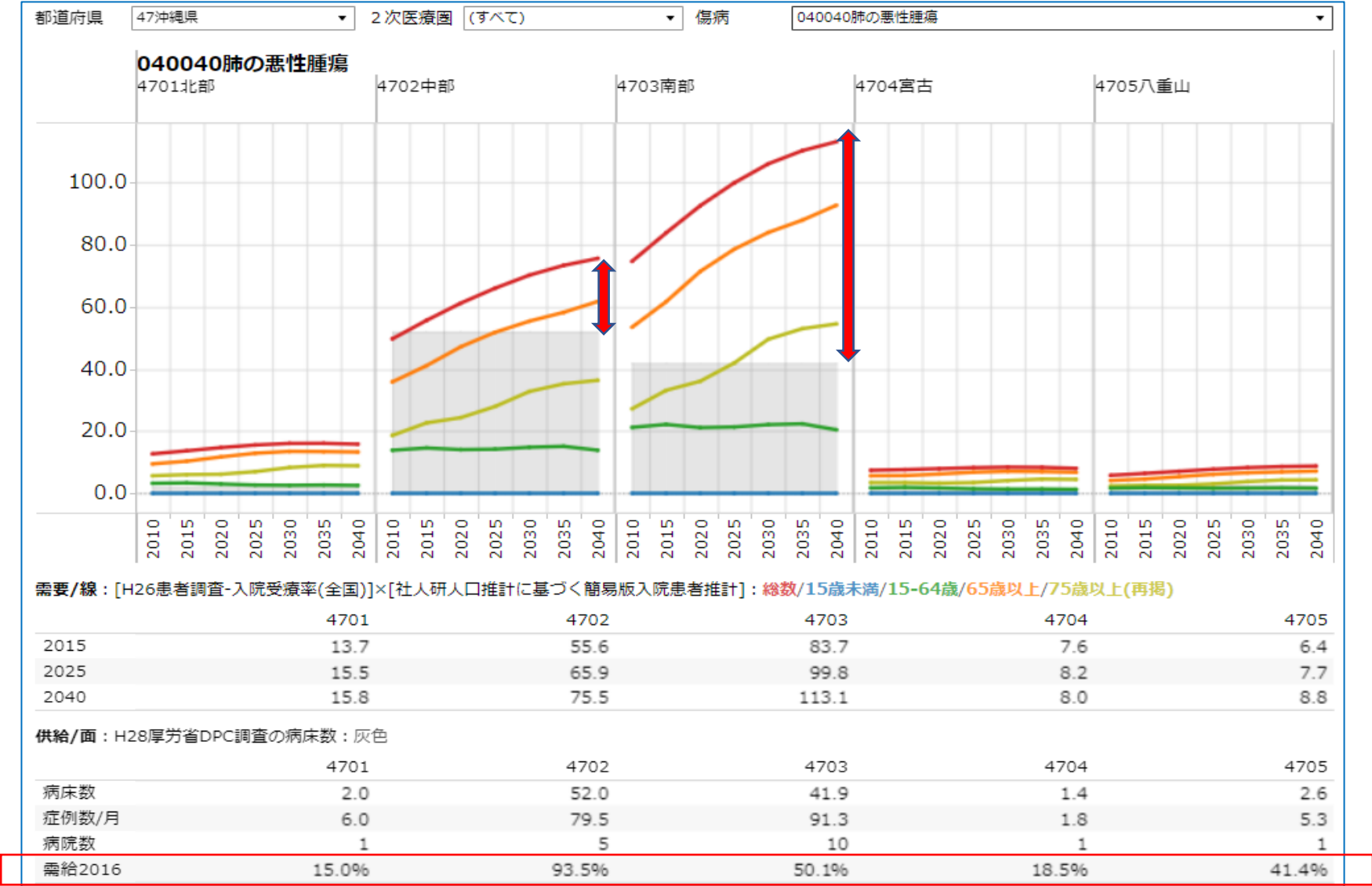
推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。胃がん、医療圏別）



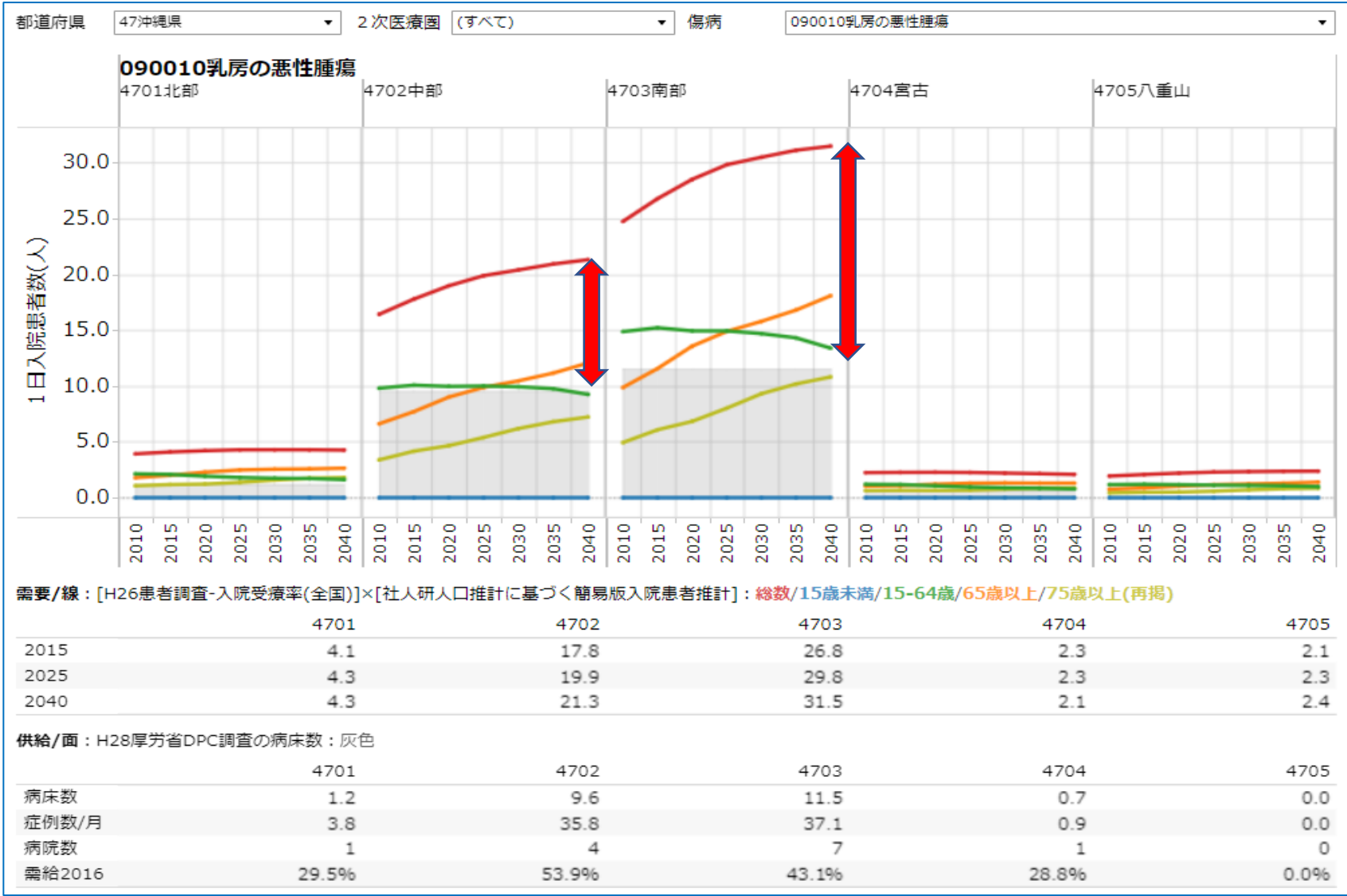
推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。肺がん、医療圏別）



推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

これから20年余りの需給ギャップをどのように埋めるか（沖縄県。乳がん、医療圏別）



推計入院数とDPC症例数とのギャップによる試算。大きなギャップを埋める必要がある

患者の医療圏間移動と医療機関の役割分担

病院別の患者居住地（医療圏別）で患者がどこから来ているかを把握する

Ⅱ. 2018年二次医療圏別登録数（症例区分80を除く全登録数）：沖縄県

施設名	中部	八重山	北部	南部	宮古	都道府県外	不明
おもろまちメディカルセンター	(4-6)	(1-3)	(1-3)	103	0	0	0
仁愛会 浦添総合病院	205	15	18	424	(4-6)	(7-9)	(1-3)
北部地区医師会病院	11	0	300	(1-3)	0	(4-6)	(1-3)
医療法人おもと会 大浜第一病院	(7-9)	(1-3)	(7-9)	171	(1-3)	(1-3)	0
医療法人和の会与那原中央病院	(4-6)	0	0	63	0	0	0
医療法人沖縄徳洲会	589	14	18	45	(1-3)	18	(1-3)
中部徳洲会病院	49	14	(1-3)	436	(7-9)	15	(1-3)
国立大学法人	477	50	133	824	71	20	0
琉球大学医学部附属病院	107	10	24	130	(7-9)	(4-6)	0
国立病院機構沖縄病院	57	26	(7-9)	820	26	10	0
地方独立行政法人那覇市立病院	0	(1-3)	0	0	92	0	(1-3)
宮古島徳洲会病院	(7-9)	(1-3)	(4-6)	292	0	(4-6)	0
沖縄医療生活協同組合	927	15	81	26	(4-6)	12	(1-3)
沖縄協同病院	0	218	0	(1-3)	0	(4-6)	(1-3)
沖縄県立中部病院	40	20	22	497	22	(7-9)	0
沖縄県立八重山病院	(1-3)	0	0	0	294	(1-3)	0
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	12	(7-9)	(4-6)	574	12	(4-6)	0
沖縄赤十字病院	20	16	(4-6)	756	13	18	(1-3)
社会医療法人 友愛会	234	(1-3)	12	255	(1-3)	(4-6)	0
豊見城中央病院	(1-3)	(1-3)	0	178	0	(1-3)	0
社会医療法人かりゆし会	987	(1-3)	76	(7-9)	(1-3)	(4-6)	0
ハートライフ病院							
社会医療法人友愛会 南部病院							
社会医療法人敬愛会中頭病院							

出典：がん診療連携拠点病院等院内がん登録 2018年全国集計報告書資料 院内がん登録割合（カバー率）と二次医療圏別登録数 令和3年8月 国立がん研究センター・がん対策情報センター

患者の医療圏を超えた移動を把握する

連番	医療圏	施設名	北部	中部	南部	宮古	八重山	都道府県外	不明	合計	医療圏内比率
1	1 北部	北部地区医師会病院	300	11	2	0	0	5	2	320	93.8%
2	2 中部	医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院	18	589	45	2	14	18	2	688	85.6%
3	2 中部	国立病院機構沖縄病院	24	107	130	8	10	5	0	284	37.7%
4	2 中部	沖縄県立中部病院	81	927	26	5	15	12	2	1068	86.8%
5	2 中部	社会医療法人敬愛会中頭病院	76	987	8	2	2	5	0	1080	91.4%
6	2 中部	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	12	234	255	2	2	5	0	510	45.9%
7	3 南部	おもろまちメディカルセンター	2	5	103	0	2	0	0	112	92.0%
8	3 南部	仁愛会 浦添総合病院	18	205	424	5	15	8	2	677	62.6%
9	3 南部	医療法人おもと会 大浜第一病院	8	8	171	2	2	2	0	193	88.6%
10	3 南部	医療法人和の会与那原中央病院	0	5	63	0	0	0	0	68	92.6%
11	3 南部	南部徳洲会病院	2	49	436	8	14	15	2	526	82.9%
12	3 南部	国立大学法人琉球大学医学部附属病院	133	477	824	71	50	20	0	1575	52.3%
13	3 南部	地方独立行政法人那覇市立病院	8	57	820	26	26	10	0	947	86.6%
14	3 南部	沖縄医療生活協同組合沖縄協同病院	5	8	292	0	2	5	0	312	93.6%
15	3 南部	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	22	40	497	22	20	8	0	609	81.6%
16	3 南部	沖縄赤十字病院	5	12	574	12	8	5	0	616	93.2%
17	3 南部	社会医療法人 友愛会豊見城中央病院	5	20	756	13	16	18	2	830	91.1%
18	3 南部	社会医療法人友愛会 南部病院	0	2	178	0	2	2	0	184	96.7%
19	4 宮古	宮古島徳洲会病院	0	0	0	92	2	0	2	96	95.8%
20	4 宮古	沖縄県立宮古病院	0	2	0	294	0	2	0	298	98.7%
21	5 八重山	沖縄県立八重山病院	0	0	2	0	218	5	2	227	96.0%
		医療圏内計	300	2844	5138	386	218				
		医療圏外系	419	901	468	178	202				
		合計	719	3745	5606	564	420	150	16	11220	
		医療圏内部比率	41.7%	75.9%	91.7%	68.4%	51.9%				
		医療圏外部比率	58.3%	24.1%	8.3%	31.6%	48.1%				

出典：前ページのデータを筆者が加工。症例数(1-3)=2,(4-6)=5,(7-9)=8に変換して計算

更新日：2021年9月22日

がん診療を行う県内医療施設について

受療する際の医療施設選択の参考として、令和元年度に実施した医療機能調査で、「がん診療を行っている」と回答した県内医療施設のうち、下記に定めた掲載要件を満たすことが確認された医療施設の一覧を作成しました。

- PDF [掲載要件（PDF：95KB）](#)
- PDF [掲載要件を満たす、がん診療を行う県内医療施設一覧（PDF：94KB）](#)

1 大腸がん

以下の項目をすべて満たす施設とする

1 以下の項目をすべて満たしていること

- (1) 一般財団法人日本消化器病学会認定施設
- (2) 一般社団法人日本消化器外科学会認定施設
- (3) 結腸がんに対する手術が年 24 例以上ある施設
- (4) 直腸がんに対する手術が年 12 例以上ある施設
- (5) 大腸がんに対する放射線治療が年 2 例以上ある施設。または適切に連携を取ることにより、必要な時期に適切に他の医療機関に紹介して放射線治療を実施していて、その放射線治療が年 2 例以上ある施設
- (6) 大腸がんに対する薬物療法が年 24 例以上ある施設

※症例数は、直近 3 年間の平均値とする

※放射線治療の症例数には、緩和的放射線治療を含む

※(5) は、自施設での治療と他施設での治療の合計が年 2 例以上の施設も可とする。

掲載要件を満たす、がん診療施設一覧（部分）

がん診療を行う医療施設

【ご覧になる際の留意事項】
令和元年度に実施した医療機能調査で、「がん診療を行っている」と回答あった県内医療施設のうち、別添掲載要件を満たしていると確認できた医療施設のみを掲載しています。
掲載されていない医療施設においても、がん診療を行っている場合があります。

(令和3年3月時点)

がん診療連携拠点病院等		医療体制	大腸がん	肺がん	胃がん
「がん診療連携拠点病院等の整備について」(平成30年7月31日付健発第0731第1号)に基づき厚生労働大臣が指定する医療機関			掲載要件を充足している医療機関		
北部	[地域がん診療病院] 北部地区医師会病院(名護市)	北部地区医師会病院(名護市)			
中部	[地域がん診療連携拠点病院] 県立中部病院(うるま市)	県立中部病院(うるま市)	県立中部病院(うるま市)	県立中部病院(うるま市)	県立中部病院(うるま市)
			中頭病院(沖縄市)	中頭病院(沖縄市)	中頭病院(沖縄市)
				沖縄病院(宜野湾市)	ハートライフ病院(中城村)
南部	[都道府県がん診療連携拠点病院] 琉球大学病院(西原町)	琉球大学病院(西原町)	浦添総合病院(浦添市)	琉球大学病院(西原町)	琉球大学病院(西原町)
		那覇市立病院(那覇市)	友愛医療センター(豊見城市)		那覇市立病院(那覇市)
		沖縄赤十字病院(那覇市)			浦添総合病院(浦添市)
	[地域がん診療連携拠点病院] 那覇市立病院(那覇市)				友愛医療センター(豊見城市)
宮古	[地域がん診療病院] 県立宮古病院(宮古島市)	県立宮古病院(宮古島市)			
八重山	[地域がん診療病院] 県立八重山病院(石垣市)	県立八重山病院(石垣市)			

肺がん施設掲載数の推移は、12→4→15→4
大腸がん施設掲載数の推移は、13→9→22→4

2. 納得して治療を受けたい

(1) がん診療を行っている専門医療機関

沖縄県保健医療計画では、国の指定を受けたがん診療連携拠点病院をはじめ、がん種別の専門医の配置や手術療法、化学療法又は放射療法を組み合わせた集学的治療等を実施する医療機関を、専門的がん診療機関として位置づけています。連携拠点病院に関しては➡P70



※2013年4月改訂により専門的がん診療機関の変更が見込まれます。

最新の情報は、沖縄県医務課ホームページでご確認ください。

http://www.pref.okinawa.jp/imu_kokuho

※左メニューの「沖縄県保険医療計画」をクリック

※放射線療法可能機関 (2013年2月現在)

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	※
県立北部病院	○	○	○	○	○	—	—
北部地区 医師会病院	○	○	○	○	○	—	—
県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	—	—	○	—	—	—	—
中頭病院	○	○	○	○	○	○	—
名嘉病院	—	—	—	—	○	—	—
ハートライフ病院	○	○	○	○	○	○	—
琉球大学医学部 附属病院	○	○	○	○	○	○	○
宜野湾記念病院	—	—	○	—	—	—	—
国立病院機構 沖縄病院	○	○	○	○	○	—	○

※放射線療法可能機関 (2013年2月現在)

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	※
浦添総合病院	○	○	○	○	○	—	—
同仁病院	—	—	○	—	—	—	—
大浜第一病院	—	—	○	—	○	○	—
沖縄協同病院	—	—	○	○	○	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○
おもろまち メディカルセンター	—	—	○	—	—	—	—
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	○
県立南部医療センター ・こども医療センター	○	○	○	○	○	○	○
豊見城中央病院	○	○	○	○	○	○	—
南部徳洲会病院	—	—	○	—	—	—	○
県立宮古病院	—	—	○	—	—	—	—
県立八重山病院	—	—	○	—	—	—	—
宮良クリニック	—	—	—	—	○	—	—
那覇西 クリニック	—	—	—	—	○	—	—

その他のがん種の専門施設については、相談支援センターにお問合せください

➡P28



P18 (1) がん診療を行っている専門医療機関 (引用: <http://www.pref.okinawa.jp/site/fukushi/imu/iryoukeikaku.html>)

※沖縄県保健医療計画の改訂<第6次>に伴い、専門医療機関が下記のように変更になりました。(2013年4月現在)

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	放射線療法
北部地区医師会病院	—	○	—	○	○	—	—
県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	—	—	—	—	○	—	—
中頭病院	—	○	○	○	○	○	—
ちばなクリニック	—	—	—	—	○	—	—
ハートライフ病院	—	○	○	○	○	○	—
琉球大学医学部付属病院	○	○	○	○	○	○	○
沖縄病院	○	—	—	—	—	—	○
浦添総合病院	—	○	○	○	○	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	—	○	○	○	○
那覇市立病院	—	○	○	○	○	○	○
南部医療センター・こども医療センター	—	○	—	—	○	○	○
豊見城中央病院	—	○	○	○	○	○	—
南部徳洲会病院	—	—	—	—	—	—	○
Dr久高のマンマ家クリニック	—	—	—	—	○	—	—
宮良クリニック	—	—	—	—	○	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	—	○	—	—
那覇西クリニックまかび	—	—	—	—	○	—	—

(4) がん診療を行っている沖縄県内の医療機関

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮頸がん	肝がん	胆道がん	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍	放射線療法
県がん診療連携拠点病院													
琉球大学病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療連携拠点病院													
沖縄県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療病院													
北部地区医師会病院	○	—	○	○	—	○	○	○	—	○	—	—	—
沖縄県立宮古病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
沖縄県立八重山病院	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	○	○	—
その他の医療機関													
沖縄県立北部病院	○	—	○	—	—	○	○	○	—	○	—	—	—
たいら内科クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
KIN放射線治療・健診クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
中頭病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
ハートライフ病院	○	—	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—	—
国立病院機構 沖縄病院	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
浦添総合病院	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	—	—	—
同仁病院	○	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮頸がん	肝がん	胆道がん	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍	放射線療法
宮良クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マンマ家クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
おもるまち メディカルセンター	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—
大浜第一病院	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
沖縄協同病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
与那原中央病院	—	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	—	—
南部医療センター ・こども医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
沖縄第一病院	○	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
南部徳洲会病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	—	○
友愛医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—
宮古島徳洲会病院	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石垣島徳洲会病院	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—

出典：医療施設一覧（沖縄県保健医療部医療政策課ホームページ）

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/medicalfacilities3.html>

医師の異動等で対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。詳しくは各病院にお問い合わせください。

セカンドオピニオンおよび実施施設の連絡先 ➡ P22

医療機関の連絡先 ➡ P94

集約しつつキャパシティの拡大に対応することを計画的に実施する

4病院のシェアは県の4割程度

大腸がん		2015		2016		2017		2018		2019	
		件数	シェア	件数	シェア	件数	シェア	件数	シェア	件数	シェア
沖縄県18施設合計		1,803	100%	1,824	100%	1,925	100%	1,913	100%	2,056	100%
1	北部地区医師会病院	89	4.9%	88	4.8%	96	5.0%	82	4.3%	94	4.6%
2	国立病院機構沖縄病院	36	2.0%	39	2.1%	46	2.4%	33	1.7%	39	1.9%
3	県立中部病院	166	9.2%	142	7.8%	163	8.5%	166	8.7%	185	9.0%
4	中頭病院	240	13.3%	211	11.6%	227	11.8%	275	14.4%	250	12.2%
5	中部徳洲会病院	135	7.5%	147	8.1%	125	6.5%	137	7.2%	150	7.3%
6	ハートライフ病院	101	5.6%	91	5.0%	93	4.8%	87	4.5%	102	5.0%
7	那覇市立病院	130	7.2%	142	7.8%	172	8.9%	146	7.6%	182	8.9%
8	沖縄赤十字病院	82	4.5%	95	5.2%	103	5.4%	113	5.9%	122	5.9%
9	大浜第一病院	—		43	2.4%	55	2.9%	52	2.7%	41	2.0%
10	浦添総合病院	158	8.8%	200	11.0%	173	9.0%	148	7.7%	157	7.6%
11	琉球大学病院	87	4.8%	74	4.1%	80	4.2%	67	3.5%	92	4.5%
12	県立南部医療センター・こども医療センター	98	5.4%	68	3.7%	79	4.1%	102	5.3%	98	4.8%
13	豊見城中央病院	40	2.2%	33	1.8%	22	1.1%	26	1.4%	26	1.3%
14	南部徳洲会病院	78	4.3%	89	4.9%	81	4.2%	95	5.0%	131	6.4%
15	沖縄協同病院	74	4.1%	71	3.9%	91	4.7%	77	4.0%	100	4.9%
16	友愛医療センター	166	9.2%	150	8.2%	184	9.6%	192	10.0%	161	7.8%
17	県立宮古病院	67	3.7%	75	4.1%	82	4.3%	72	3.8%	76	3.7%
18	県立八重山病院	56	3.1%	66	3.6%	53	2.8%	43	2.2%	50	2.4%
4病院合計		730	40.5%	703	38.5%	747	38.8%	781	40.8%	753	36.6%

出典：院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状（2019年症例 院内がん登録集計報告書）を加工

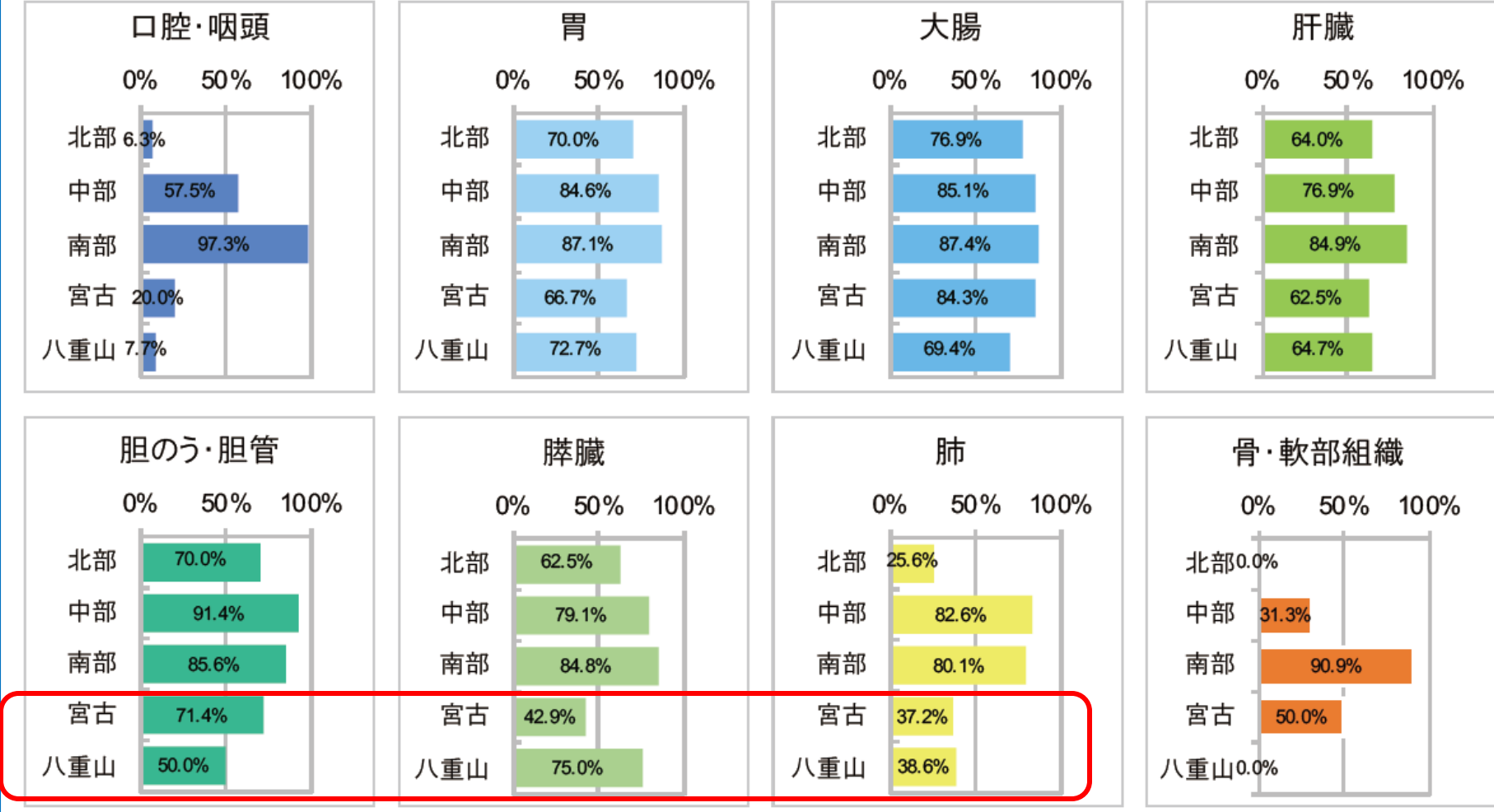
表 11 都道府県別罹患数（2018）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別

		岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
口腔・咽頭	C00-C14	91.6	92.9	84.4	94.2	82.3	86.0	89.6	74.2	84.7	81.2	86.6	83.8	73.5	75.9	92.3
食道	C15 D001	91.6	92.5	75.7	86.0	84.1	88.7	81.5	76.5	81.2	85.0	93.0	75.6	59.3	84.2	95.7
胃	C16	79.0	78.4	58.9	81.6	66.6	74.8	72.8	58.6	61.0	61.7	81.6	57.9	27.7	67.7	91.9
大腸（結腸・直腸）	C18-C20 D010-D012	72.4	76.8	55.4	75.1	60.4	75.1	71.5	54.5	61.5	64.2	84.1	54.6	28.8	63.2	95.2
結腸	C18 D010	71.8	77.9	55.0	74.4	59.6	74.2	69.2	54.0	59.4	64.8	83.7	55.1	29.2	64.2	95.9
直腸	C19-C20 D011-D012	73.6	74.5	56.4	76.6	62.1	77.1	75.7	55.6	66.5	62.7	85.0	53.7	28.1	61.2	93.6
肝及び肝内胆管	C22	72.0	74.4	53.8	66.9	62.6	68.7	52.6	49.6	58.5	60.1	72.7	61.2	25.6	55.4	88.1
胆のう・胆管	C23	73.6	71.6	57.6	53.6	54.6	70.4	56.8	53.1	59.4	60.4	76.4	66.1	32.4	60.7	88.2
膵臓	C25	75.0	71.2	56.1	69.5	54.7	74.5	54.6	54.6	61.6	54.3	74.8	63.1	34.1	61.5	92.6
喉頭	C32	94.2	90.5	75.3	95.8	95.1	81.8	86.4	86.7	80.5	84.6	92.4	83.3	67.5	81.9	94.7
肺	C33-C34 D021-D022	80.5	78.1	65.5	73.1	67.8	77.4	71.1	62.6	71.0	64.9	74.6	72.6	54.9	65.7	88.9
皮膚	C43-C44 D030-D049	81.4	87.7	78.4	86.9	71.3	85.0	69.9	73.4	60.1	78.6	80.9	84.0	42.1	69.3	96.1
乳房	C50 D05	78.4	84.0	58.1	70.6	54.3	80.8	64.6	56.4	44.7	70.9	71.1	45.7	35.3	73.4	62.4
子宮	C53-C55 D06	88.2	86.5	89.2	89.7	82.4	83.9	90.0	77.9	77.7	62.7	80.3	87.4	85.1	86.4	90.8
子宮頸部	C53 D06	89.4	85.3	91.2	91.2	83.0	86.9	93.3	78.6	75.5	60.0	76.7	86.1	87.9	87.1	92.4
子宮体部	C54	86.9	89.7	88.3	88.8	85.8	86.4	87.0	79.2	86.6	70.0	92.5	93.9	82.9	89.9	91.6
卵巣	C56	82.0	83.5	79.7	81.3	76.7	80.0	69.5	64.6	85.4	61.9	84.1	73.1	73.7	77.0	93.8
前立腺	C61	69.0	73.3	59.3	68.6	60.6	68.1	62.0	51.6	39.5	63.2	61.3	55.5	37.3	37.2	80.2
腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66, C68	81.6	84.6	63.6	80.1	69.1	75.6	75.3	61.9	72.0	75.1	84.9	75.2	59.8	75.9	94.3
膀胱	C67 D090	74.1	79.2	61.0	66.7	50.1	72.8	66.8	57.6	58.5	73.9	72.4	63.2	56.7	65.0	85.0
脳・中枢神経系	C70-C72	65.5	66.1	58.4	68.0	66.7	71.3	45.0	62.2	75.0	62.5	65.2	68.3	53.1	50.5	93.7
甲状腺	C73	83.7	51.2	55.7	65.8	67.0	72.1	71.4	37.3	42.3	67.9	47.3	9.1	23.5	69.6	84.3
悪性リンパ腫	C81-C85, C96	85.8	82.4	58.5	86.4	70.7	75.3	72.4	70.4	80.3	72.7	82.0	73.3	57.5	67.0	93.2
多発性骨髄腫	C88-C90	83.8	76.6	49.5	75.4	63.2	65.7	78.0	66.3	69.6	64.4	68.0	66.3	54.3	60.7	89.7
白血病	C91-C95	88.8	79.5	60.8	93.9	72.8	81.4	79.3	65.5	83.2	76.4	79.9	66.1	60.7	60.1	97.1

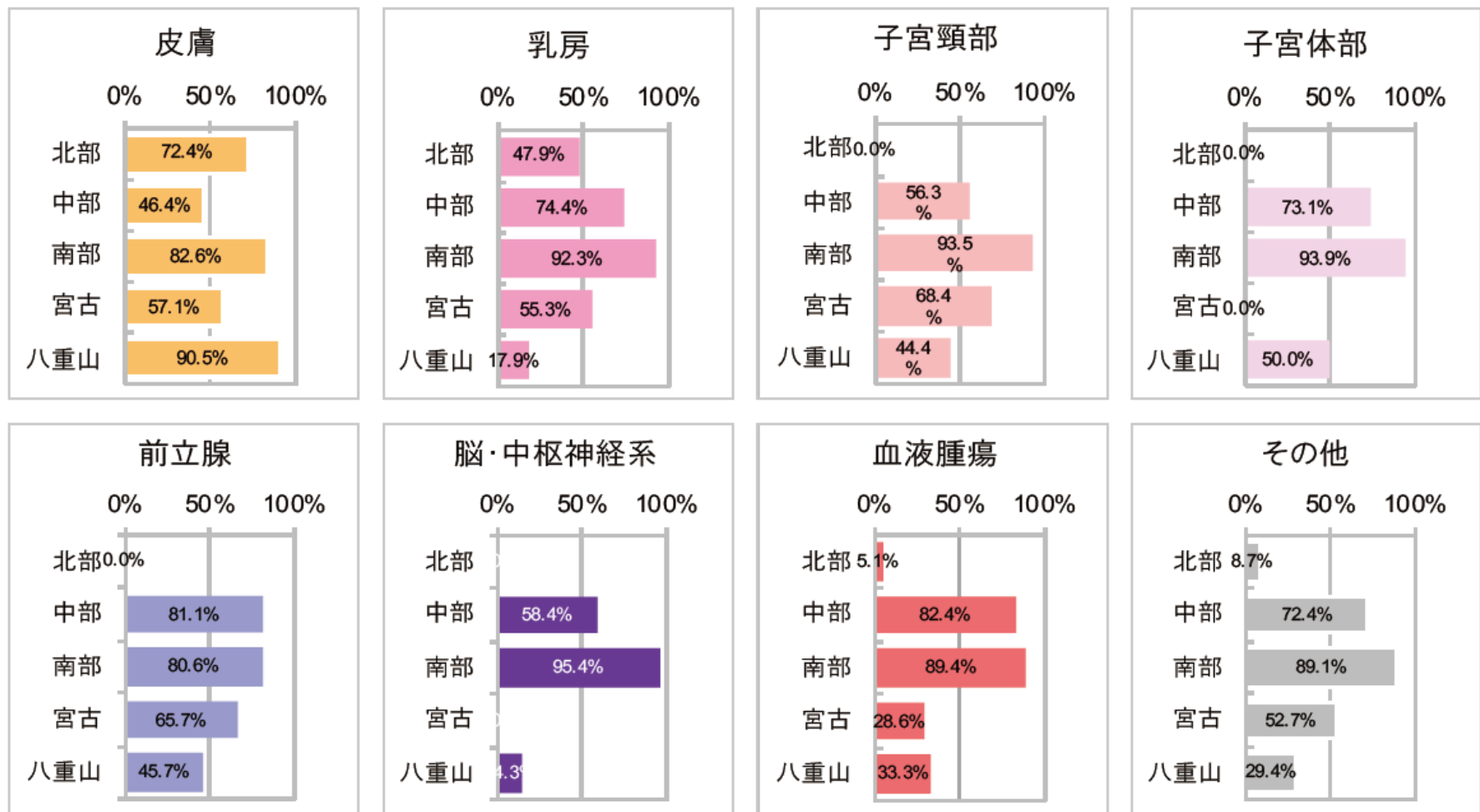
沖縄は拠点病院カバー率が低いがデータ提出病院カバー率が高い。だが低い部位もある

地元で治療を受けるべき部位とセンターに移動して受けるべき部位の役割分担を確認

二次保健医療圏別 部位別 当該医療圏在住患者に対する
当該医療圏担当施設による初回治療実施割合*



出典：院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状（2019年症例 院内がん登録集計報告書）



* 初回治療実施件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計

* 患者ががんと診断された時点の住所（診断時住所）をもとに市町村分類し、二次保健医療圏ごとに集計

* 初回治療実施割合：当該二次保健医療圏在住の初回治療実施数÷当該医療圏担当施設による初回治療実施数

出典：院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状（2019年症例 院内がん登録集計報告書）

まとめ



まとめ

- 沖縄県は今後20年間需要が大幅に増えるという日本では稀な地区
- 現在の需給を確認し、将来の需給を予測し、需給ギャップが生じそうなところは今から対処する必要がある
- かねてより問題があるとされた大腸がん対策のみならず、あまり問題視されてこなかった胃がんなどでも供給不足になる懸念があるので、確認と検討が必要
- 「かねてから進めている質の高い施設への集約」 × 「予想される拡大する需要への対応」 = 「将来の姿から逆算した実施計画に基づいた迅速な実行」
- 県全体の需給ギャップ、医療圏間のカバー仕方、個別医療機関の役割分担など、近未来に適応するため体制転換を計画的に進める必要がある